

6章 電子メールを使おう

- 1 電子メールとは? 136
- 2 Outlook Express の使いかた 138
- 3 ペットにメールを運んでもらう 181
- 4 知っておきたいマナー 184
- 5 新着メールをランプで確認する 187

1

電子メールとは？

1 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届きます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、画像や文書ファイルなどのデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。

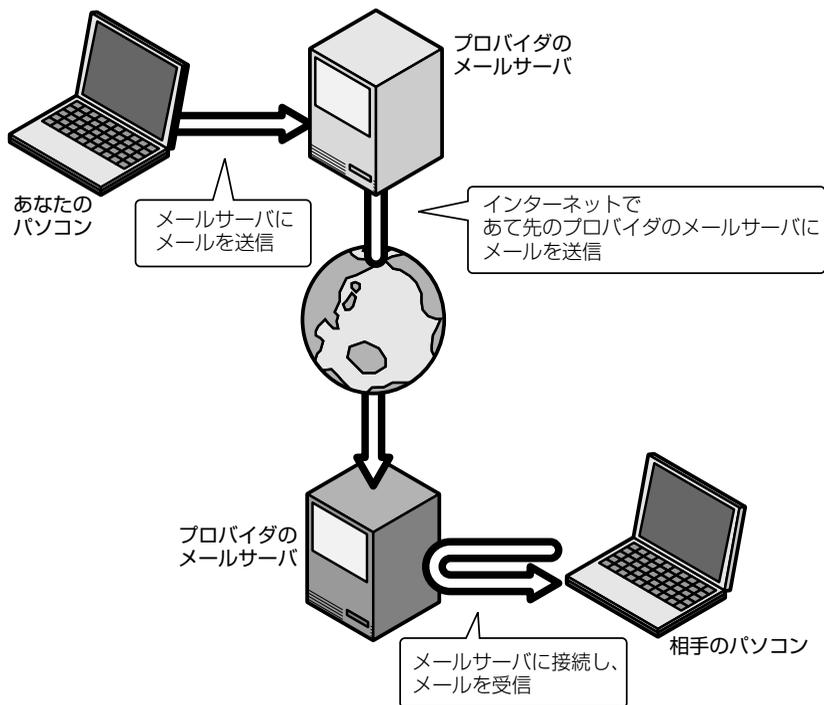
「Eメール（Electric Mailの略）」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ぶこともあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

2 メールのおしくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータは、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。メールサーバとは、メールの配信サービスを提供するコンピュータです。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。データを受け取ったプロバイダは、受信者別にメールを整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、パソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



- **メールサーバ** ● メール配信では、送信のために利用されるSMTPサーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つPOP3サーバの2種類がある。



2

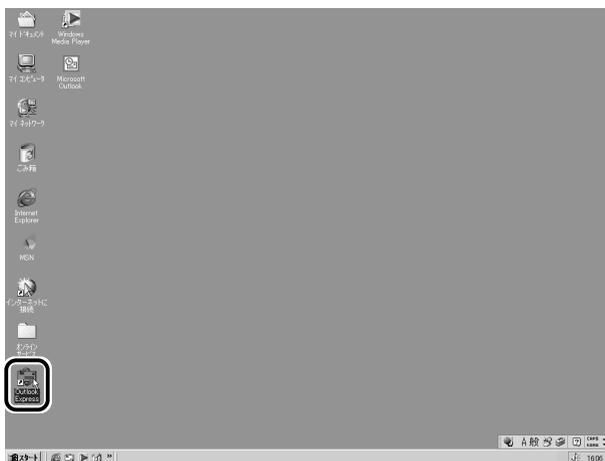
Outlook Express の使いかた

本製品にはメールソフト「Outlook Express」がプレインストールされています。

Outlook Express をご使用になる前にあらかじめプロバイダへの入会やメールの設定などを完了させてください。設定内容の詳細については各プロバイダにお問い合わせください。

1 起動する

- 1 デスクトップ上の [Outlook Express] アイコン () をダブルクリックする

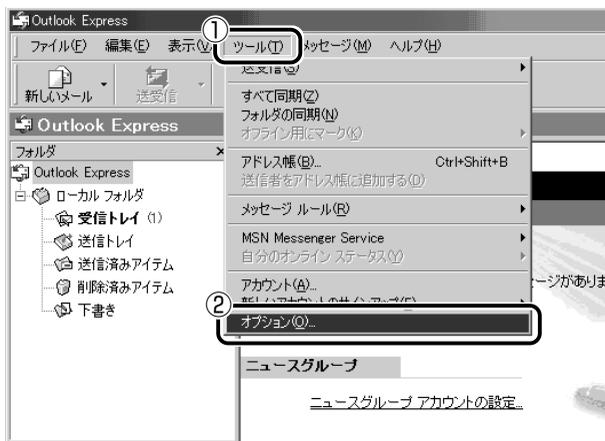


Outlook Express が起動します。

2 オプションの設定

Outlook Express をより便利に使うための設定をご紹介します。

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②



[オプション] 画面が開きます。

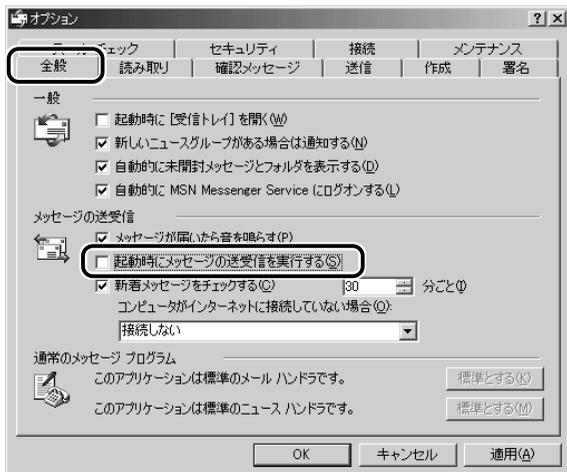
2 各タブで設定を行う

オプションの設定は必ずしも行う必要はありませんが、設定すると Outlook Express をより便利に使うことができます。本書では、オプション 1～4 の設定を行なった前提で説明しています。

■ オプション 1 手動でメールのメッセージを受信する場合

[全般] タブの [メッセージの送受信] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

メールの送受信を行うときだけメールサーバに接続する設定になります。[起動時にメッセージの送受信を実行する] をチェックしていると、Outlook Express を起動すると同時にインターネットに接続してしまいます。通常は Outlook Express を起動してから、都合のいいときに手動で送受信を実行したほうが便利です。

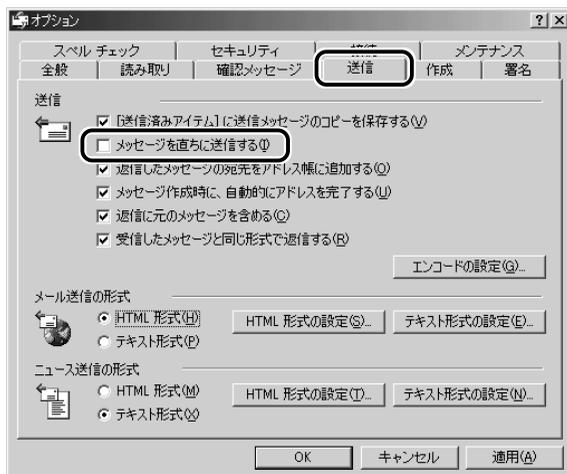


■ オプション2 数通のメールをまとめて送りたい場合

[送信] タブの [送信] で [メッセージを直ちに送信する] のチェックをはずす

メールの送信をまとめて行う設定になります。

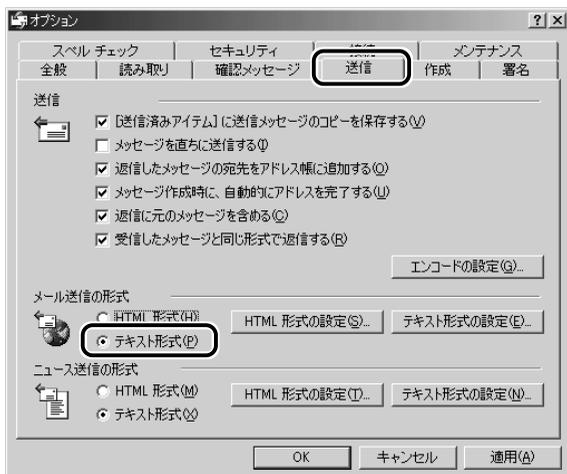
メールを1通書くたびにインターネットに接続するのではなく、手動で送信を実行したほうが数通のメールをまとめて送りたい場合などに、便利です。



■ オプション3 メール形式を選択する場合

[送信] タブの [メール送信の形式] で [テキスト形式] をチェック () する

HTML 形式で送信した場合、相手のメールソフトが HTML 形式に対応していないと、メールが文字化けして、内容を読むことができない場合があります。通常は、どのメールソフトでも読めるように、テキスト形式でメールを送るほうが良いでしょう。



- **テキスト形式** ● メール本文が文字だけで記述されていること。
- **HTML 形式** ● メール本文が htm ファイル形式で記述されていること。画像を貼りこんだり、リンクを貼れる。
- **文字化け** ● 文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。

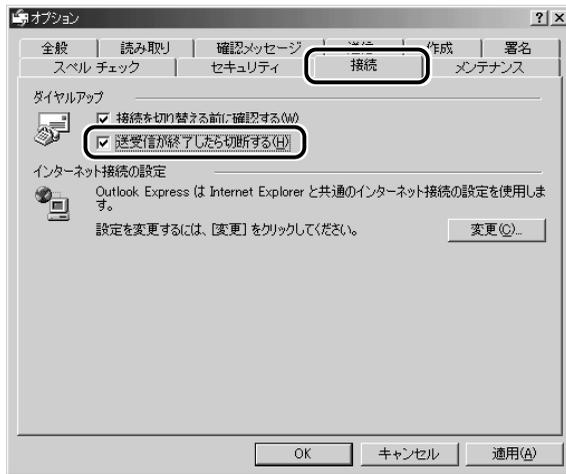
■ オプション4 インターネットへの接続を終了する場合

[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] をチェック () する

送受信が完了したら、自動的にインターネットの接続を切る設定になります。

接続したままだと、メールの送受信を実行していなくても電話料金がかかります。一時的にメールの送受信を行うためであれば、送受信後は自動的に接続を切る設定にしておく便利です。

メール送受信の後、接続したままブラウザを起動してホームページの閲覧などを行う場合は、見終わったときに手で必ず接続を切ってください。



3 [OK] ボタンをクリックする

以上で基本的なオプションの設定は完了です。

3 Outlook Express画面

メニューバー
すべての操作はこのメニューから行えます。

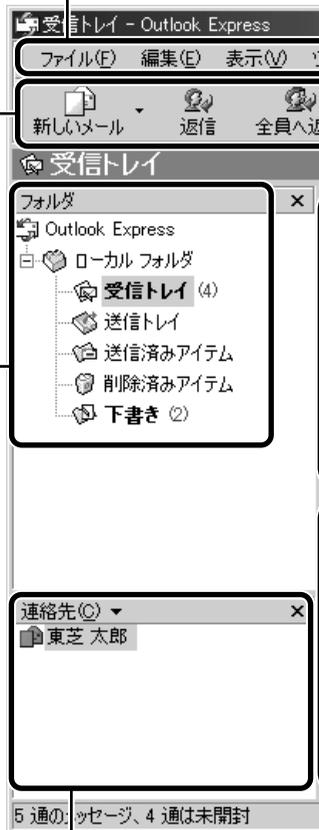
ツールバー

よく使う機能がボタンでまとめられています。
表示されるボタンは左画面の「フォルダ」で選択されている項目によって異なります。
よく使われるボタンの動きを説明します。

-  新しいメールを作成します。
➡「本節 4 メールを作成する」
-  メールを送ってきた相手にメールを返信します。
➡「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  送信元以外にも入力されているメールアドレスに返信します。
➡「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  受け取ったメールを別のメールアドレスに転送します。
➡「本節 6 メールを返信する／転送する」
-  メールの内容を印刷します。
-  メールを削除します。
➡「本節 7 メールを削除する」
-  インターネットに接続し、メールの送受信を行います。
➡「本節 5 メールを送信する／受信する」
-  アドレス帳を開きます。
➡「本節 9 アドレス帳を使う」
-  メールを検索します。
➡「本節 10 メールを検索する」
-  表示する言語を切り替えることができます。
➡「本節 14 表示する言語を切り替える」

メールの管理を行います。
() 内には未読または未送信のメール数が表示されます。

アドレス帳に登録されている連絡先の一覧が表示されます。



メールの情報が表示されます。
メールの差出人、用件、受け取った時間など



インターネットへの接続状態を示します。
接続しているときは、「オンライン中」と表示されます。

選択したメールの内容が表示されます。
(プレビューウィンドウ)

4 メールを作成する

メールを送受信するときはインターネットへの接続が必要です。しかし、メールを作成したり、受け取ったメールを読むときなどは接続の必要はありません。

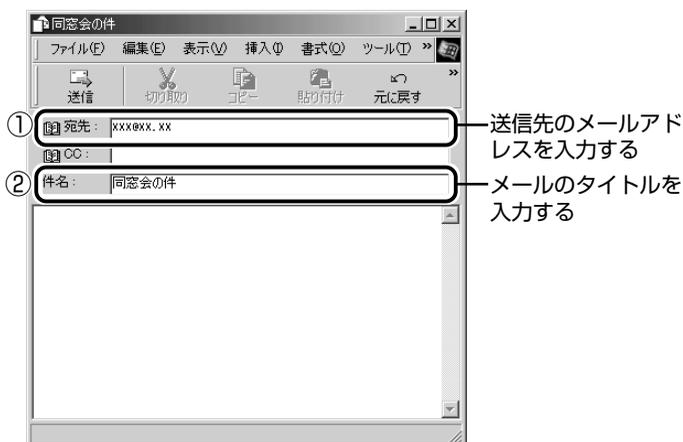
メールの作成が終わった後でインターネットへ接続しましょう。

- メモ** ● インターネットに接続した状態でメールを作成していると、作成中も電話料金やプロバイダの利用料金がかかります。

1 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

2 [宛先] (送信先) ①と、[件名] (タイトル) ②を入力する



- メモ** ● メールアドレスは半角で入力してください。
● メールを複数の相手に送る場合は、「:」(セミコロン) で区切ってメールアドレスを入力します。
● 宛先以外の人に同じメールを送信しておきたい場合は、[CC] にメールアドレスを入力します。
● 件名に半角カタカナを使用しないでください。

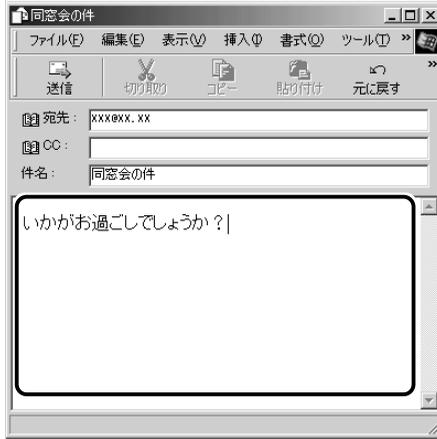
3 メール本文を入力する

送信したい文章を入力してください。

件名やメールの本文を書くときは、半角カタカナを使用しないでください。

メールを書く場合のエチケットなどを「本章 4 知っておきたいマナー」で紹介しています。

そちらを参考にしながら、本文を入力しましょう。



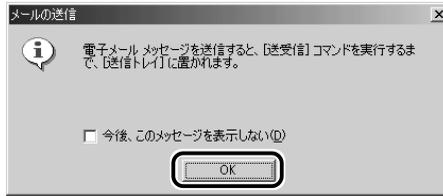
4 ツールバーの「送信」ボタン () をクリックする



- 宛先や件名が入力されていない場合は、注意をうながすメッセージが表示されます。内容を確認してください。

[今後、このメッセージを表示しない] をチェックすると、この画面は表示されません。

5 [OK] ボタンをクリックする



このとき、まだメールは送信されていません。作成したメッセージは、[送信トレイ] に保存されています。

メールをいくつか作成したい場合は、手順 1 から 5 を繰り返し行なってください。

すべてのメールの作成が終わったら、インターネットへ接続し、メールを送信します。

 参照  メールを送信する ⇨ 「本節 5 メールを送信する／受信する」

メールを書くのを一時的にやめる

メールを書くのをいったんやめて、その内容を保存しておくことができます。

1 メールを作成している画面の [閉じる] ボタン () をクリックする

2 [はい] ボタンをクリックする



3 [OK] ボタンをクリックする



作成したメールは [下書き] フォルダに保存されます。

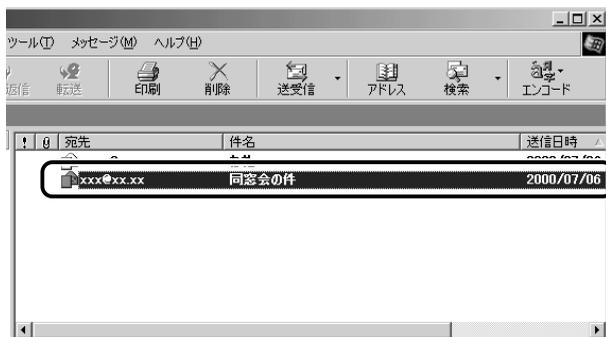
メールの続きを作成する

1 [フォルダ] の [下書き] をクリックする



右画面にメールの一覧が表示されます。

2 一覧から目的のメールをダブルクリックする



作成中のメール画面が開きます。

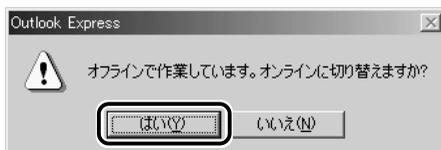
3 メールの続きを入力する



5 メールを送信する／受信する

送信と受信はインターネットに接続したときに、同時に行えます。
送信する場合、[送信トレイ]に保存されているメールが送信されます。受信した場合、メールは[受信トレイ]に保存されます。
送受信の指示を行なった後に、メールの編集や送受信の取り消しはできません。

- 1 ツールバーの[送受信]ボタン () をクリックする
- 2 次のメッセージが表示された場合、[はい] ボタンをクリックする



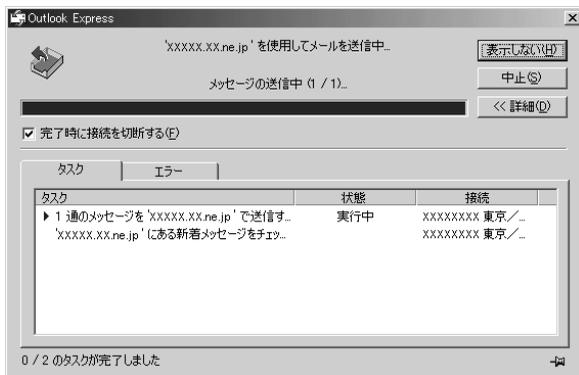
[接続] 画面が表示されます。

3 必要な内容を入力し、[接続] ボタンをクリックする

参照  詳細について  『まずはこれから インターネットに接続しよう』



プロバイダのメールサーバに接続し、送受信が始まります。



[送信トレイ] に保存されていたメールが送信され、送信済みのメールは [送信済みアイテム] に保存されます。その後、届いているメールをチェックし、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。メールの送受信を完了すると、自動的に接続を切断します。

受信メールを見る

受信したメールは [受信トレイ] に保存されています。

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

[受信トレイ] のカッコ内には、未開封メールの件数が表示されます。



右側に受信したメールの一覧が表示されます。

まだ読んでいないメールは送信者、件名などが太字で表示されます。

[送信者] の横にあるマークには次のような意味があります。



..... 以前開いたメール（開封済み）



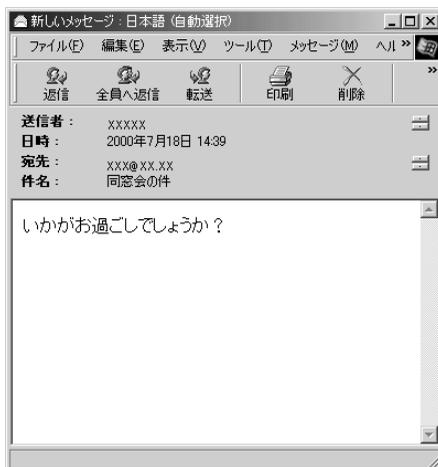
.... 読んでいないメール（未開封）



..... ファイルが添付されている

2 見たいメールをダブルクリックする

メールが開きます。



- メールが長い場合は、スクロールして読んでください。
- プレビューウィンドウを表示すると、メールを開かずに内容を読むことができます。
[表示] → [レイアウト] をクリックし、[ウィンドウのレイアウトのプロパティ] 画面で、[プレビューウィンドウを表示する] をチェックすると、プレビューウィンドウを表示できます。
- ファイルが添付されているメールには、[件名] の下に [添付] が追加され、添付ファイルの名称が表示されます。



添付ファイルの開きかたについて

⇒ 「本節 12 メールに添付されたファイルを開く」

6 メールを返信する／転送する

受信したメールに返事を出すことを返信といいます。受信したメールを別の相手に送ることを転送といいます。

どちらも、元のメールの本文が自動的にコピーされるので、返事を入力したり、別の相手に伝えるのに便利です。また返信の場合、相手のメールアドレスを入力する手間が省けます。

返信する

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする

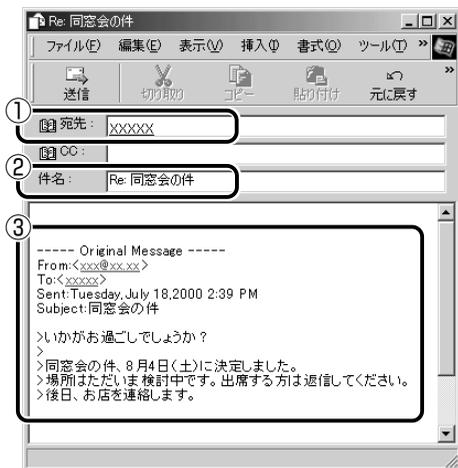


右側に受信メールの一覧が表示されます。

- メモ** ●メールの整理などを行い、目的のメールが [受信トレイ] 以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

2 一覧から返信したいメールをクリックする

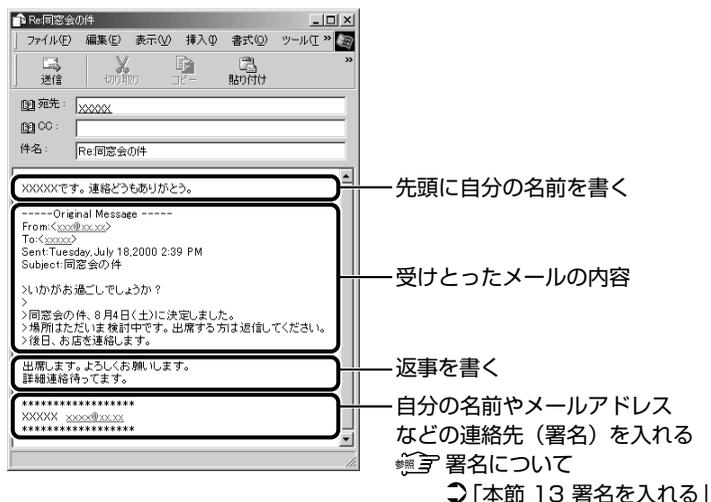
- 3 ツールバーの「返信」ボタン（）をクリックする
メールの作成画面が表示されます。
[宛先] にはメールをくれた相手のアドレスが自動的に表示されます①。
[件名] には元のタイトルに「Re:」がついて表示されます②。
「Re:」は「Response: 返答、返事」の略です。
本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています③。



- [全員へ返信] ボタン（）をクリックすると、受信メールの宛先やCCに含まれているアドレスすべてが、それぞれ [宛先] と [CC] に入力されます。

4 メール本文を入力する

メール書く場合のエチケットなどを「本章 4 知っておきたいマナー」で紹介しています。そちらも参考にしながら、本文を入力しましょう。以降は返信する際の一例です。



転送する

1 [フォルダ] の [受信トレイ] をクリックする



右側に受信メールの一覧が表示されます。



- メール整理などを行い、目的のメールが「受信トレイ」以外に保存されている場合は、保存されているフォルダをクリックしてください。

2 一覧から転送したいメールをクリックする

3 ツールバーの「転送」ボタン () をクリックする

メールの作成画面が表示されます。

[件名] には元のタイトルに「Fw:」がついて表示されます①。

「Fw:」は「Forward: 転送する」の略です。

本文の欄には、元のメールの本文が自動的にコピーされています②。



4 [宛先] を入力する

5 メール本文を入力する

7 メールを削除する

受信したメールやすでに送信したメールは削除しないと増えていきます。不要なメールはまめに削除するようにしましょう。

- 1 [フォルダ] で削除したいメールが保存されている場所をクリックする
一覧が表示されます。
- 2 一覧から削除したいメールをクリックする
- 3 ツールバーの [削除] ボタン () をクリックする
選択したメールが一覧からなくなります。このとき、まだメールは削除されていません。[削除済みアイテム] に移動しています。

 ● 送信したメールも受信したメールも最初に削除したときは [削除済みアイテム] に移動します。

- 4 [フォルダ] の [削除済みアイテム] をクリックする
削除したメールの一覧が表示されます。



間違えて削除してしまったメールは、ドラッグアンドドロップすると元の場所へ戻すことができます。

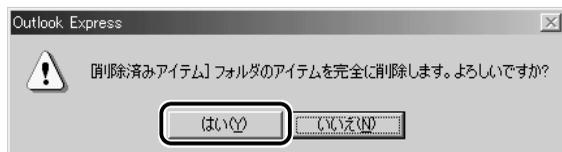


- 5 「削除済みアイテム」を右クリックし①、表示されたメニューから「[削除済みアイテム] フォルダを空にする」をクリックする②



確認のメッセージが表示されます。
ここで削除したメールはもう見ることはできません。削除する前によく確認してください。

6 [はい] ボタンをクリックする



[削除済みアイテム] にあるメールがすべて削除されます。

8 メールを整理する

受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。Outlook Express では、[受信トレイ] の他にフォルダを作り、メールの相手や内容によって分類することができます。また、不要なメールは削除するなど、[受信トレイ] を常に整理しておくと、あとでメールを探すときに便利です。

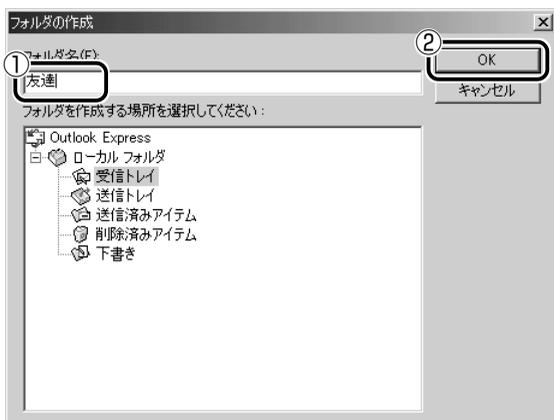
-  ● 標準設定では、受信したメールは [受信トレイ] に保存されます。設定を変更している場合は、設定先のフォルダに保存されます。

メールを分類する

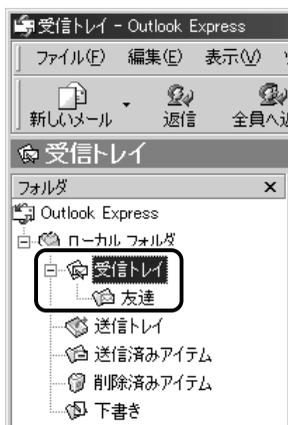
- 1 [フォルダ] の [受信トレイ] を右クリックし①、表示されたメニューから [フォルダの作成] をクリックする②



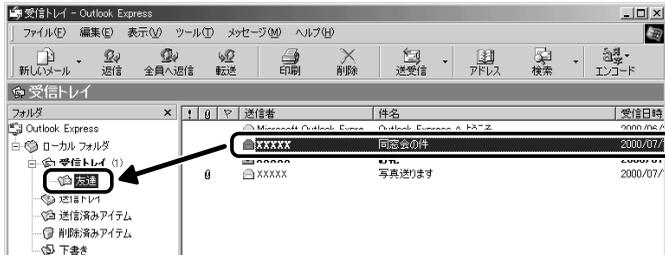
- 2 フォルダ名を入力し①、[OK] ボタンをクリックする②
ここでは「友達」と入力します。



[受信トレイ] に、新しくフォルダが作成されました。



3 移動したいメールを、作成したフォルダにドラッグアンドドロップする



選択したメールが新しいフォルダに移動します。
複数のメールを指定するときは、(Ctrl)キーを押しながらクリックします。連続して表示されているメールを指定するときは、(Shift)キーを押しながらクリックします。

4 作成したフォルダをクリックする

フォルダ内のメールの一覧が表示されますので、移動したメールがあるか確認してください。



9 アドレス帳を使う

よくメールをやり取りする相手のメールアドレスは、「アドレス帳（住所録）」に登録しておく便利です。

「アドレス帳」は、メールアドレス以外の情報も管理できるようになっていますが、ここではメールで利用する機能について紹介します。その他の詳細については、『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。

メールをくれた相手のアドレスを登録する

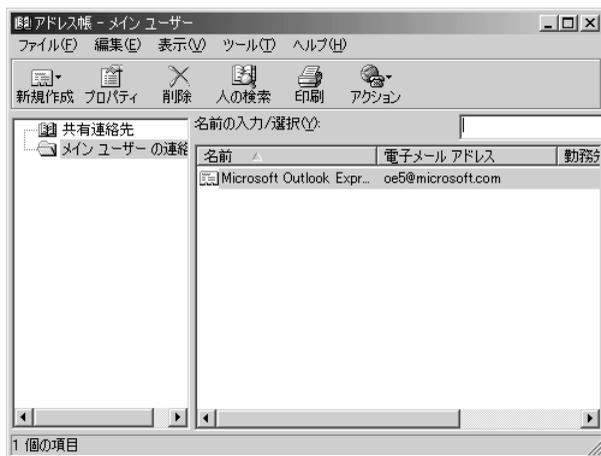
- 1 一覧から登録したいアドレスのメールを右クリックし①、表示されたメニューから [送信者をアドレス帳に追加する] をクリックする②



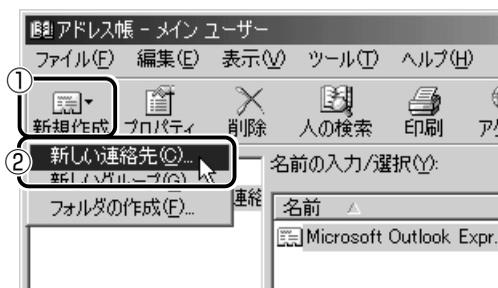
[アドレス帳] に登録されました。

新しいアドレスを登録する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン () をクリックする
[アドレス帳] 画面が表示されます。



- 2 ツールバーの [新規作成] ボタン () をクリックし
①、表示されたメニューから [新しい連絡先] をクリック
する②



[のプロパティ] 画面が表示されます。

- 3 [名前] タブで [姓] [名] [表示名] [電子メールアドレス] を入力し①、[追加] ボタンをクリックする②
電子メールアドレスは、半角英数字で入力してください。

入力したメールアドレスは「標準の電子メール」として追加されます。



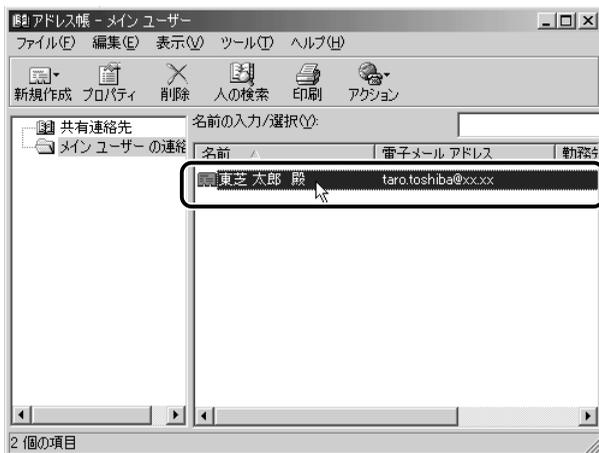
- [表示名] に入力した文字は、メールを受け取る相手にもそのまま表示されます。「様」「殿」といった敬称は、この [表示名] に追加することをおすすめします。
- [自宅] タブや [勤務先] タブ、[個人情報] タブなどでは、住所や電話番号、勤務先、家族構成などの情報も登録することができます。

- 4 プロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする
アドレス帳に追加されました。



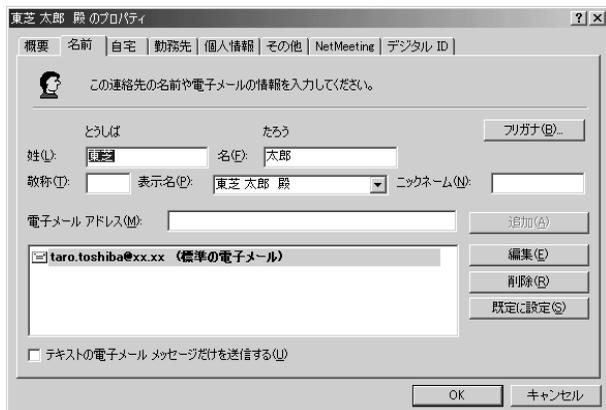
アドレス帳を修正する

- 1 ツールバーの [アドレス] ボタン () をクリックする
- 2 修正したい名前をダブルクリックする



[XXXXのプロパティ] 画面が表示されます。

3 [名前] タブで編集したい内容を変更する



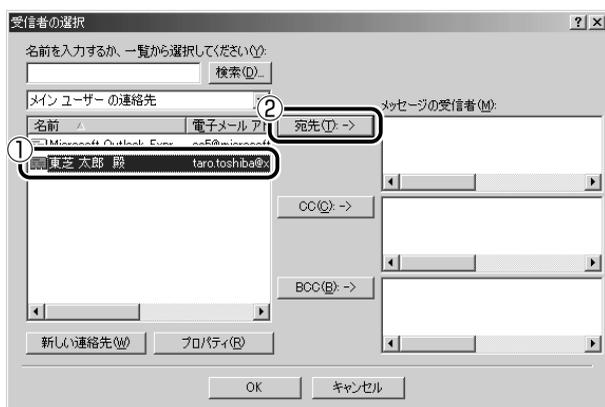
電子メールアドレスを編集する場合は、[編集] ボタンをクリックします。
「電子メールアドレス」が反転表示されたらアドレスを修正してください。



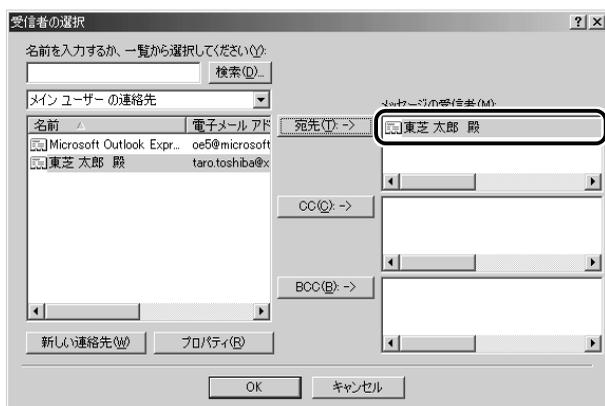
4 修正が終わったら、[OK] ボタンをクリックする [アドレス帳] 画面に戻ります。

アドレス帳を使って宛先を入力する

- 1 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする
[メッセージの作成] 画面が表示されます。
- 2 [宛先] ボタン () をクリックする
- 3 送信したい相手をクリックし①、[宛先] ボタンをクリックする②



[メッセージの受信者] に選択した名前が入ります。



同じメールを複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返し行い、[宛先] に追加してください。



- 「写し」として送る場合は、[宛先] ボタンの代わりに、[CC] または [BCC] ボタンをクリックします。「CC」は Carbon Copy の略で、文書の宛先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。「BCC」は Blind Carbon Copy の略で、「CC」と同様の役割です。「宛先」、「CC」で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかりますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわかりません。送信したことを他の人に知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいるときに利用します。

4 [OK] ボタンをクリックする

[メッセージの作成] 画面に戻ります。

メールの宛先に、登録された表示名が入力されています。

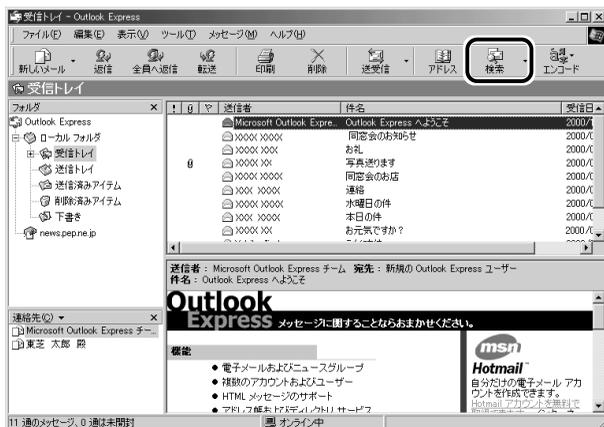


5 メールの件名、本文を入力し、メールを作成する

10 メールを検索する

受信したメールや送信したメールなどを検索できます。

1 [検索] ボタン () をクリックする

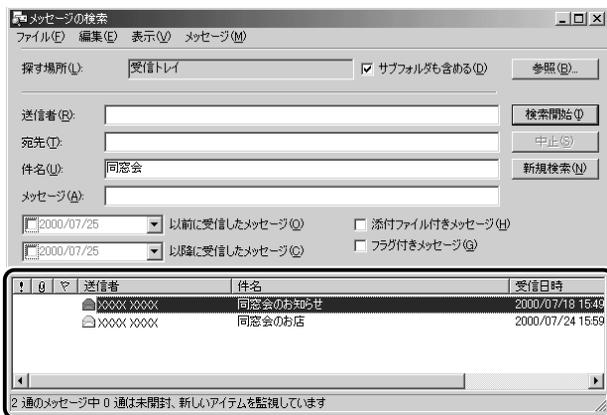


[メッセージの検索] 画面が表示されます。

2 [メッセージの検索] 画面で検索条件を入力し①、[検索開始] ボタンをクリックする②



検索結果が表示されます。



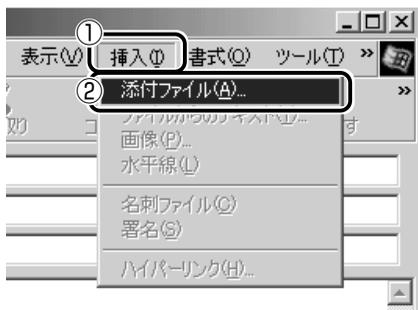
-  ● 検索結果をダブルクリックすると、メッセージが開きます。

3 検索が終わったら、[閉じる] ボタン () をクリックする [メッセージの検索] 画面が閉じます。

11 メールにファイルを添付する

画像や文書などのデータを送るときは、メールにファイルとして添付します。

- 1 メールを作成する
- 2 メニューバーの [挿入] をクリックし①、表示されたメニューから [添付ファイル] をクリックする②



- 3 添付したいファイルを選択し①、[添付] ボタンをクリックする②

ここでは [My Pictures] に保存されている「冰山」というファイルを選択します。



[メッセージの作成] 画面に戻ります。
[件名] の下に、添付したファイルの名称が表示された [添付] が追加されます。



添付したいファイルがいくつかある場合は、手順 2 と 3 を繰り返し行なってください。

- メモ** ● 受信側のパソコンに、添付したファイルを開くためのアプリケーションがセットアップされている必要があります。

4 メールを送信する

12 メールに添付されたファイルを開く

■ ファイルを開くときの注意

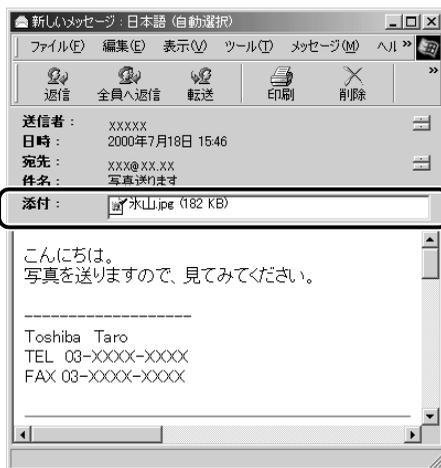
コンピュータウイルスが添付ファイルで送られてくることがあります。知らない差出人や、内容についての安全性が確認できない添付ファイルは、コンピュータウイルスに感染している場合があります。ウイルスのチェックを行ってからファイルを開くことをおすすめします。

■ ファイルを開く

添付ファイルを開くには、添付ファイルに対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

1 メールを開く

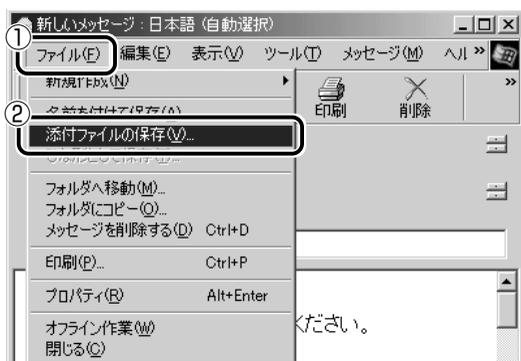
受信メールを開いたとき、[件名] の下に [添付] が表示されている場合は、ファイルが添付されています。また、メール一覧では [送信者] の横に [添付ファイル] アイコン (📎) が表示されています。



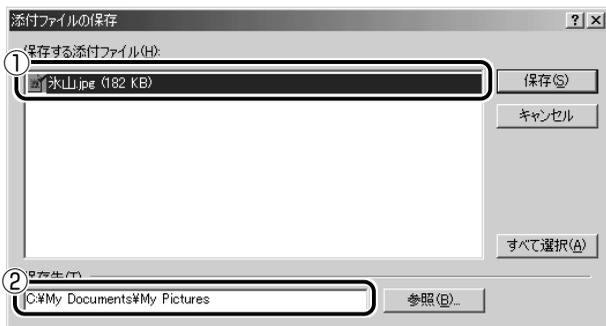
ファイル名をダブルクリックして添付ファイルを開くこともできますが、この場合ファイルの種類によっては、開くときに警告のメッセージが表示されます。添付ファイルにはウイルスが含まれている場合があるためです。

ここでは、いったんファイルを保存してから開く方法を説明します。

- 2 メニューバーの【ファイル】をクリックし①、表示されたメニューから【添付ファイルの保存】をクリックする②



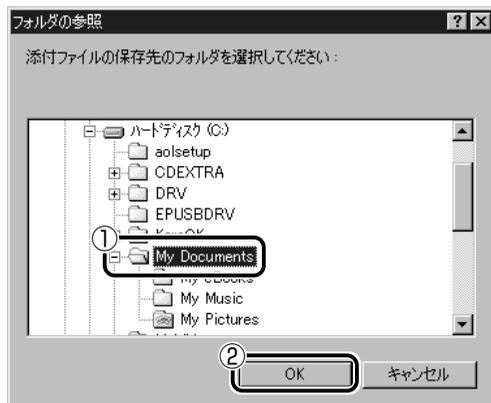
- 3 保存する添付ファイル①と、【保存先】②を選択する



表示された保存先と別のフォルダに保存する場合は、【参照】ボタンをクリックしてください。

保存先のフォルダを選択し①、[OK] ボタンをクリックしてください②。

ここでは [My Documents] フォルダに保存します。



4 [保存] ボタンをクリックする

ファイルが保存されました。

安全性が確認できないファイルは、開く前にウイルスチェックをしてください。



ウイルスチェックソフト

☞ 『こんなことができる 5章 1 ウイルスチェックをする』

5 保存先フォルダを開き、フォルダをダブルクリックする

13 署名を入れる

メッセージの最後に、自分の名前やメールアドレスなど、差出人情報を入れることもエチケットのひとつです。次の手順で、あらかじめ作成しておくのと便利です。

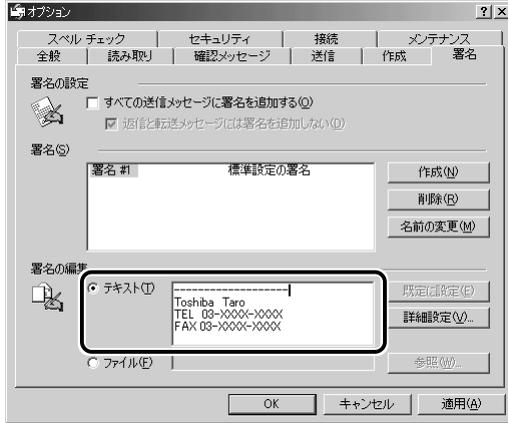
- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし①、表示されたメニューから [オプション] をクリックする②



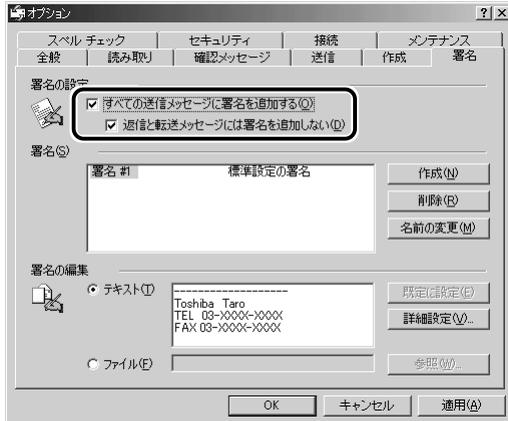
- 2 [署名] タブで [作成] ボタンをクリックする



3 [署名の編集] に差出人情報として入れたい内容を入力する



- 4 [すべての送信メッセージに署名を追加する] をチェックする
返信や転送するメールにも署名を追加する場合は、[返信と転送
メッセージには署名を追加しない] のチェックをはずしてください。



5 [OK] ボタンをクリックする

6 ツールバーの [新しいメール] ボタン () をクリックする

メール作成画面に署名が挿入されています。



14 表示する言語を切り替える

表示する言語を切り替えることができます。

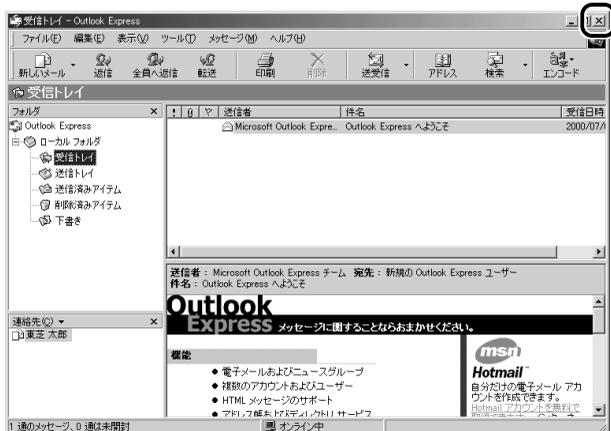
選択した言語を表示するには、対応するシステムが必要な場合があります。

1 ツールバーの [エンコード] ボタン () をクリックし、表示したい言語をクリックする



15 終了する

1 Outlook Express 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする



送信トレイに送信していないメールがある場合、送信を確認するメッセージが表示されます。



送信してから終了する場合は、[はい] ボタン、送信しないで終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックしてください。画面を閉じたら、インターネット接続が終了しているか確認してください。タスクバーの [接続中] アイコン () が消えていれば、接続は終了しています。

3

ペットにメールを運んでもらう

ポストペット

本製品にはメールソフト「PostPet」がプレインストールされています。プロバイダによっては、PostPet を使えない場合があります。契約するプロバイダが対応しているかどうか、ご確認ください。ポストペットは、かわいいペットが電子メールを運ぶメールソフトです。あなたやあなたのお友だちあてにメールを書いたり、宝物を拾ってきたりします。おやつやおもちゃをあげたり、ときどき洗ってあげたりして、ペットとの暮らしを楽しんでください。

- 1 [スタート] → [プログラム] → [PostPet for Windows] → [PostPet for Windows] をクリックする初めて使うときは設定画面が表示されます。
- 2 必要な内容を入力し①、[次に進む] ボタンをクリックする②
入力する内容については、各プロバイダにご確認ください。
また『PostPet のヘルプ』もご覧ください。

PostPet for Windows ver. 2.0 Setup1

PostPet™ セットアップ

はじめに、ネットワークの設定をします。以下の各項目を入力したあと、
[次に進む]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックすると、この作
業を中断します。

① 基本設定(最低限必要な設定)

(例)は、So-netの場合の設定例です

SMTPサーバー:
(例) mail.△△△.so-net.ne.jp

POPアカウント:
(例) ○○○@pop.△△△.so-net.ne.jp

電子メールアドレス:
(例) ○○○@△△△.so-net.ne.jp

名前:

パスワード:

パスワードの保存

サーバーにあるメールを

残す 削除

キャンセル ②



ヘルプの起動方法 → 「本節 - ヘルプの起動方法」

6章

電子メールを使う

3 ペットを選ぶ

ここでは「テディベア」を例に説明します。

- ①ペットを選び、絵の上でクリックする
ポインタを絵の上にあわせると、
【特徴】に説明が表示されます。

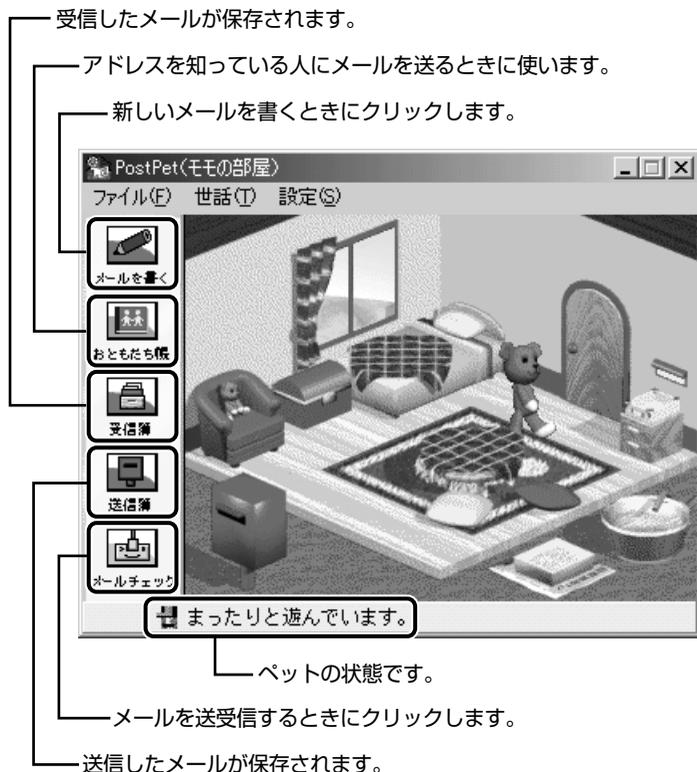


- ②ペットや飼い主について入力する

- ③入力がすべて終わったら
クリックする

ペットを変更したい
ときにクリックする

[ペットの部屋] 画面が表示されます。



詳しい使いかたは『PostPetのヘルプ』をご覧ください。

ヘルプの起動方法

- 1 [スタート] → [プログラム] → [PostPet for Windows]
→ [PostPet for Windowsの使い方] をクリックする

4

知っておきたいマナー

半角カタカナは使わない

インターネットにはいろいろな機種のコピュータが接続されています。機種によっては文字を表示するためのコードが違うため正しく表示されなかったり、「文字化け」してしまうことがあります。せっかくメールを送っても読めないのでは、意味がありません。メールで使ってはいけない文字の代表が「半角カタカナ」です。「半角カタカナ」は文字化けの原因になるばかりではなく、ほかのコピュータを誤作動させるおそれもあるので使わないようにしましょう。また、丸数字やローマ数字、特殊記号なども使わないほうがいいでしょう。

<使える文字・使えない文字>

使用できる文字	半角英数字、記号 全角の漢字、ひらがな、カタカナ キーボードに表示されている記号（全角）
使用しないほうがよい文字	半角カタカナ 丸付き数字（①、②、③など） ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなど） 罫線記号（ㄣ、ㄤ、ㄨなど） 音符記号（♪、♭など） 論理記号（∩、∪、≧など） 特殊文字（㊤、(株)、cmなど） 旧字体、外字など

読みやすさに気配りを

メールでやり取りする文章は、段落ごとに1行空けたり、箇条書きで必要事項をまとめるなど読みやすさに配慮しましょう。

1行の長さに気を付けて

1行の長さはだいたい30字～35字程度を目安に書くように心がけましょう。Outlook Expressでは全角38字で自動的に改行されます。改行されるのが送信時なのでメールを書いているときは気づきませんが、送られたメールは文の途中で改行されて読みにくいものになってしまいます。

件名は一目で内容が分かるように

メールの件名（題名）は、一目で内容がわかるような簡潔なものにしましょう。

署名を入れる

誰からのメールかわかるようにメッセージの終わりに署名（名前やメールアドレスなど差出人情報）を入れることをおすすめします。ただし、署名に自宅の住所や電話番号、職場の連絡先などの個人情報を必要以上に開示していないか十分に注意することを忘れないようにしましょう。署名は複数用意できますから、相手によって使い分けることができます。

 署名の入れかたについて ⇨ 「本章 2-13 署名を入れる」

添付ファイルの容量に注意

ファイルを添付するとき、ファイルの容量に十分注意しましょう。容量の大きい画像ファイルなどを添付すると、メール自体の容量が大きくなります。相手がダイヤルアップで接続している場合、メールを受信するのに時間がかかるので、電話代がどんどんかかってしまいます。画像ファイルは圧縮して容量を小さくして添付するようにしましょう。

 ファイルの圧縮について

⇨ 『こんなことができる 5章 2 ファイルやフォルダを圧縮／解凍／分割する』

チェーン・メールに要注意

「不幸の手紙」のように、不特定多数の人に同じ内容の伝言（転送）を求めるメールを「チェーン・メール」といいます。チェーン・メールはメールサーバやネットワーク回線の負担になりますので、転送しないようにしましょう。

To、CC、BCCの意味と使い分け

メールには宛先 ([TO]) のほかに、[CC] と [BCC] があります。[CC] は Carbon Copy の略で、[TO] のコピーという意味です。直接用件を伝えたい宛先以外の人に「参考までに」という意味合いで同じメールを送るとき使います。[BCC] は Blind Carbon Copy の略で、[CC] と同様 [TO] のコピーです。[CC] と [BCC] の大きな違いは、[CC] で指定した場合は、メールが誰に送信されたのか、送信相手全員にわかってしまいますが、「BCC」で指定した場合は、他の送信相手にはわからないということです。他に誰に送ったかを知られずに送りたいときに使います。

楽しい顔文字の一例

文字化けしない記号を組み合わせで作った、顔の表情のマークを顔文字といいます。文字だけのやりとりは意外と誤解を招いたりすることも多いものです。気持ちを表す顔文字が文章の中に入っていると受け取る方もちょっと違った感じになるはずです。ほんの一例を紹介します。

にこにこ	!(^^)! ^_^ (^)o(^) (#^.#) (*^.**) (*^.**) (^.^) (^.^) (^_^)/ \(^o^)/
むか	(-_-) (一一`) (^_^X)
ごめん	_(._)_ _(^)_ <(_)> m(_)_m
あせ	(^^ゞ (^_^;) (-_-;) (._.;
びっくり	(*_*) (*_*; (@_@) \(\◎o◎)/!
なぜ	(. . ? (?_?)

MS-IME2002 では、いろいろな顔文字を読みから入力することができます。

変換モードが [一般] のときに、顔文字を変換して入力するには、次の設定を行う必要があります。

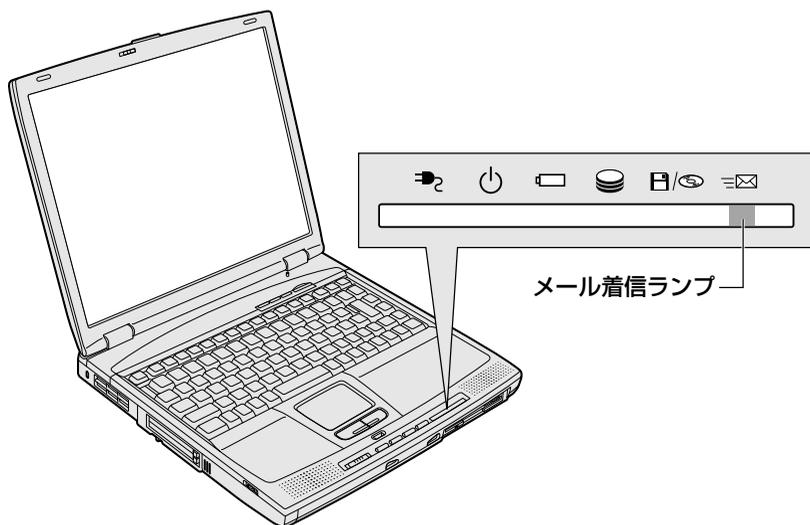
- ① IME ツールバーのツールアイコン () をクリックし、[プロパティ] をクリックする
[Microsoft IME スタンダードのプロパティ] 画面が表示されます。
- ② [辞書/学習] タブをクリックする
- ③ [システム辞書] の [Microsoft IME 話し言葉・顔文字辞書] チェックボックスをクリックし、() の状態にする

5

新着メールをランプで確認する

メールソフトを起動しなくても、設定した日時に自動的に Windows を起動して新着メールが届いているかどうかチェックできます。これを新着メールチェック機能といいます。

新着メールが届いていると、メール着信ランプが緑色に点灯します。



新着メールチェック機能を使用するには、あらかじめ設定が必要です。本節をよくお読みのうえご使用ください。



- 新着メールチェックを行うには、電話料金およびプロバイダへの接続料金がかかります。

■ 新着メールチェック機能を使用できる状態

新着メールチェック機能を使用するときは、必ずACアダプタを使用し、本製品と電話回線をモジュラーケーブルで接続してください。新着メールチェック機能はパソコンが次の状態のときに使用できません。

- ・電源が入っているとき
- ・スタンバイ機能を実行しているとき
- ・休止状態のとき

スタンバイ機能を実行中や休止状態にしているときは、設定した時間にパソコンが自動的に起動し、新着メールをチェックします。

新着メールチェック機能は、メールソフトの設定が完了している場合に使用できます。

メールソフトの設定についてはご契約のプロバイダからの資料をご覧ください。

1 新着メールチェックの設定をする

[メール] アイコンをタスクバーに表示する (新着メールチェック機能を開始する)

メールソフト、「メール着信ユーティリティ」、「LaLaVoice メール」を連動させることで新着メールチェックができます。

「メール着信ユーティリティ」の設定に従って、メールソフトと「LaLaVoice メール」が自動的に起動します。

「メール着信ユーティリティ」は次の手順で起動します。

1 [コントロールパネル] を開く

 詳細について ⇨ 「3章 7- コントロールパネルの開きかた」

2 [新着メールチェックのスケジュール設定] アイコン () をダブルクリックする

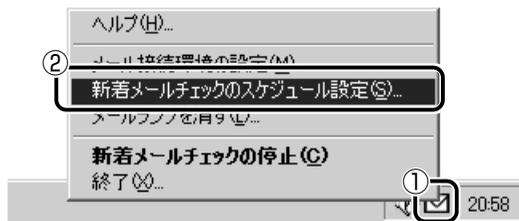
この操作を初めて行なった場合、[タスクを作成します] 画面が表示されます。表示される内容を確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。

- 3 [基本設定] タブで [実行する (指定された時刻に新着メールのチェックを行う)] をチェックする ()
- 4 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
- 5 [基本設定] タブで [コンピュータ起動時に常駐する] をチェックする ()
チェックしておくこととパソコン起動時に自動的に [メール] アイコン () がタスクバーに表示され、新着メールチェック機能が開始できるので便利です。必ずチェックしておく必要はありませんが、チェックしておくことをおすすめします。
- 6 [OK] ボタンをクリックする
タスクバーに [メール] アイコン () が表示されます。
続けて新着メールチェックのスケジュールを設定してください。

新着メールチェックのスケジュールを設定する

新着メールチェックを開始する日や時間を設定します。

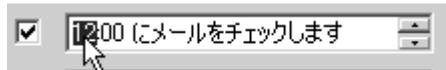
- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし
①、表示されたメニューから [新着メールチェックのスケジュール設定] をクリックする②



2 [基本設定] タブで [スケジュール] を設定する



- ① [開始日] でチェックを開始する日を設定する
▼ ボタンを押すとカレンダーが表示されますので、開始したい日をクリックしてください。
- ② [継続日数] でチェックを続ける期間を設定する
最大 30 日まで設定できます。
- ③ 何時に新着メールチェックを行うか設定する
1 日に最大 3 回まで設定できます。チェックしたい回数だけチェックボックスをチェックします ()。
画面は 12:00 に 1 回だけチェックする場合です。
時間を設定するには、設定したい [時間] [分] にポインタをあわせてクリックします。数字が反転表示しますので、▲▼ ボタンで設定します。



3 [詳細設定] タブで [タスクの実行時にスリープを解除する] をチェックする

スタンバイ機能を実行中、または休止状態のときに新着メールチェック機能を使用するときにチェックします。

4 [OK] ボタンをクリックする

新着メールチェックの接続環境を設定する

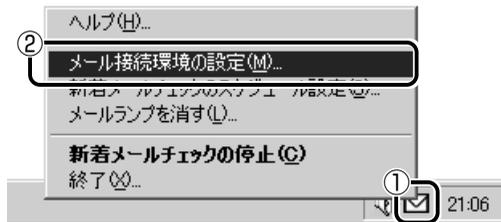
初めて新着メールチェック機能を使用するときは、メールソフトの接続環境を設定します。「新着メール数だけを確認する」または「新着メール数とメール内容を確認する」のいずれかを設定してください。MAPI対応以外のメールソフト（PostPetなど）をご使用になる場合は、「新着メール数を確認する」に設定してください。

MAPI対応メールソフト： Outlook Express、Microsoft Outlook、Microsoft Exchange など

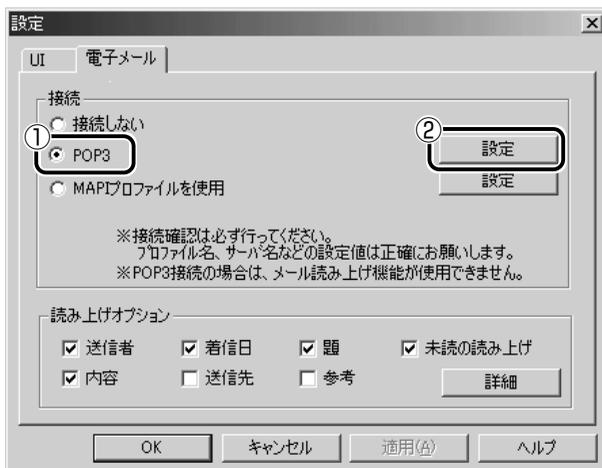
■ 新着メール数だけを確認する

新着メール数だけを知りたいときに設定します。メールの内容を確認することはできません。メールの内容を確認するには、ご使用のメールソフトで送受信を行う必要があります。

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし
①、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] をクリックする②



- 2 [電子メール] タブの [接続] で [POP3] をチェックし①、
[設定] ボタンをクリックする②
[POP3] に設定した場合、読み上げ機能は使用できません。



3 必要な項目を入力する

プロバイダから指定されている [サーバ名] [ユーザ名] [パスワード] を入力してください。



4 [OK] ボタンをクリックする

5 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する

[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。

音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。

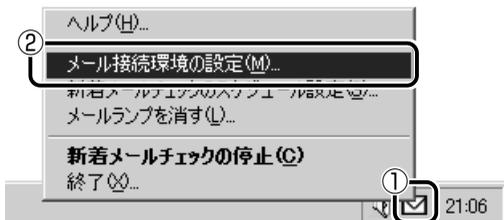


6 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

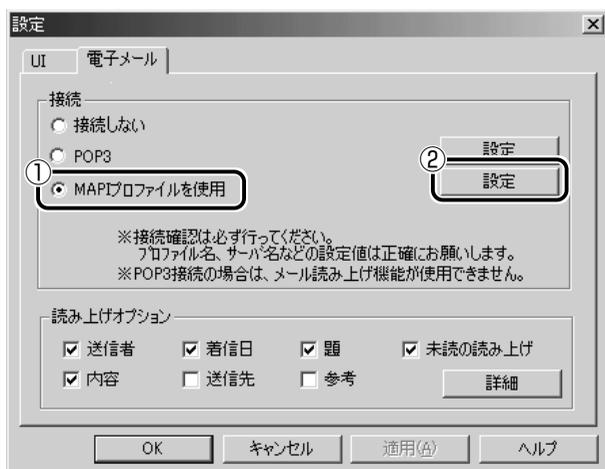
■ 新着メール数とメールの内容を確認する

新着メール数とメールの内容を知りたいときに設定します。
MAPI対応メールソフトをご使用の場合に使用できます。MAPI対応以外のメールソフトをご使用の場合、メールの内容は確認できません。

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし
①、表示されたメニューから [メール接続環境の設定] を
クリックする②

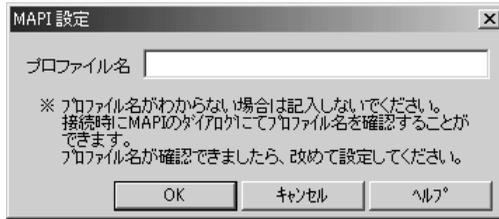


- 2 [電子メール] タブの [接続] で [MAPIプロファイルを使用] をチェックし①、[設定] ボタンをクリックする②



3 [プロファイル名] を入力する

メールサーバが Exchange サーバの場合に [プロファイル名] を入力してください。



4 [OK] ボタンをクリックする

5 使用するメールソフトを設定する

- ① デスクトップ上の [Internet Explorer] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
- ② [プログラム] タブの [電子メール] で使用するメールソフトを選択する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

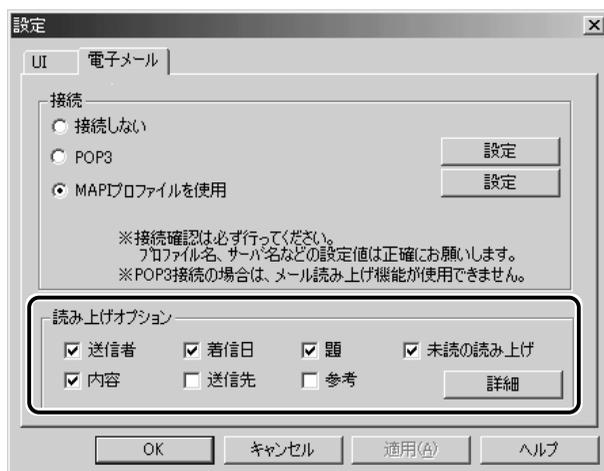
6 MAPI 対応メールソフトで自動切断の設定をする

自動切断の設定をしていないと、新着メールチェックを行なった後、インターネットへの接続が切断されません。
ここでは、Outlook Express の場合について説明します。

- ① Outlook Express を起動する
- ② メニューバーの [ツール] → [オプション] をクリックする
- ③ [接続] タブで [ダイヤルアップ] の [送受信が終了したら切断する] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ Outlook Express を終了する

7 [読み上げオプション] の設定をする

新着メールを開いたときに、チェックされている項目について音声で読み上げます。



8 [UI] タブで新着メール数を音声で知らせるか設定する

[新着メール数を音声で知らせる] をチェックすると、新着メール数を音声で知らせます。

音声を変更したい場合は、[音声合成のプロパティ] ボタンをクリックし、表示される画面で変更してください。



9 [設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

インターネットへの接続の設定

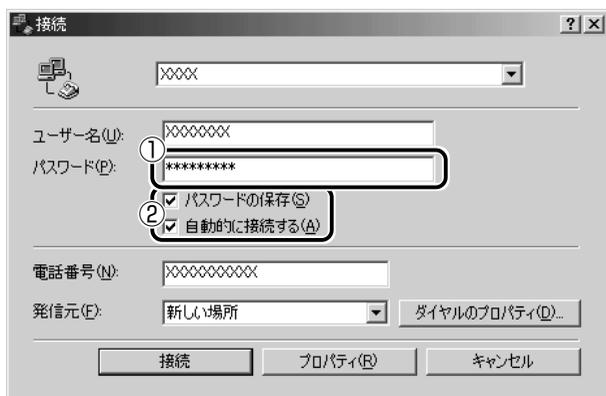
1 ACアダプタとモジュラーケーブルを接続する

参照  電話回線への接続 ⇨ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

2 [スタート] → [設定] → [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする

3 [XX (接続先)] アイコン () をダブルクリックする

4 [接続] 画面で、[パスワード] にパスワードを入力し①、
[パスワードの保存] と [自動的に接続する] をチェックする② ()



5 [接続] ボタンをクリックする

すぐに接続する必要がなくても、いちど [接続] ボタンをクリックして、設定を保存します。[キャンセル] ボタンをクリックすると設定は保存されません。

[×× (接続先) に接続中] 画面が表示されます。

- 6 この時点でインターネットへ接続する必要がない場合、
[キャンセル] ボタンをクリックする



[キャンセル] ボタンをクリックしない場合、インターネットに接続します。

- 7 [接続] 画面を閉じる

パソコンを起動せずに新着メールチェックをする

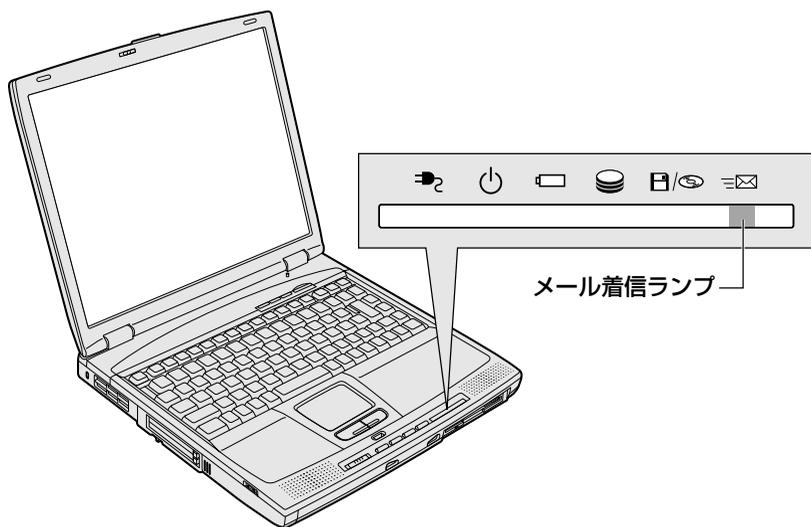
パソコンが起動していないときに、新着メールチェック機能を使うには、スタンバイを実行するか、休止状態にしてください。

 参照  スタンバイの実行、休止状態について

➔ 『もっとステップアップ 1 章 3 パソコンの使用を中断する』

2 新着メールを確認する

設定したスケジュールに従って、新着メールチェックが行われます。
新着メールがあると、メール着信ランプが緑点灯します。



パソコンの電源が入っていると、[新着] 画面が表示されます。
新着メール数を音声で知らせるように設定している場合は、新着メール数が
読み上げられます。



新着メール数を音声で知らせる

☞ 「本節 1-新着メールチェックの接続環境を設定する」

[着信] ボタン

[着信メール] 画面が表示されます。
メールの一覧を見ることができます。

[設定] ボタン

[設定] 画面が表示され、メールチェックの
接続環境を設定できます。

 詳細について

➡「本節 1- 新着メールチェックの接続環境を設定する」



[終了] ボタン

LaLaVoiceメールを終了します。

[ヘルプ] ボタン

LaLaVoiceメールのヘルプを表示します。

「新着メール数だけを確認する」「新着メール数とメールの内容を確認する」
のどちらに設定しているかによって、この後の操作が異なります。

「新着メール数だけを確認する」に設定したとき

[新着] 画面のタイトルバーに新着メール数が表示されます。



新着メール数を確認したら、[終了] ボタン () をクリックし、
[新着] 画面を閉じます。

メールの内容を見たい場合は、メールソフトを起動して送受信を行
なってください。

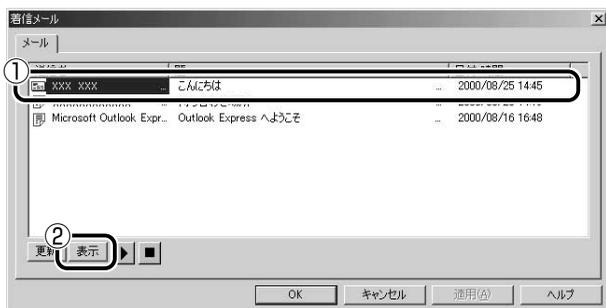
「新着メール数とメールの内容を確認する」に設定したとき

- 1 新着メールの内容をみたいときは [着信] ボタン () をクリックする

[着信メール] 画面が表示されます。

読み上げ機能を設定しているときは、メールの内容が読み上げられます。

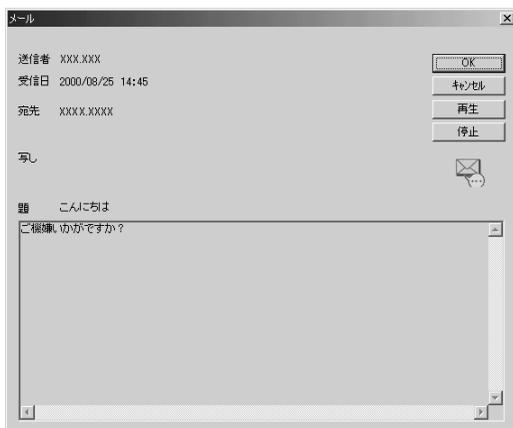
- 2 [着信メール] 画面で内容を確認したいメールをクリックし
①、[表示] ボタンをクリックする②



[送信者] の横にあるマークは次のような意味があります。

-  以前開いたメール (開封済み)
-  読んでいないメール (未開封)

メールの内容が表示されます。



内容を確認したら、[OK] ボタンをクリックして閉じます。



- メールの内容の確認は、MAPI 対応のメールソフトからも行えます。メールソフトを起動すると、新着メールが表示されます。
- [着信メール] 画面とメールソフトでの操作は連動しており、どちらか一方でメールを開封済みにすれば、もう片方も開封済みになります。

3 メールの確認が終わったら、[着信メール] 画面で [OK] ボタンをクリックする

すべてのメールの内容を確認すると、メール着信ランプが消灯します。未読のメールがあると、メール着信ランプは消灯しません。



- メール着信ランプを消す方法について
⇒ 「本節 2- メール着信ランプを消す」

4 [新着] 画面で [終了] ボタン () をクリックする

■ メール着信ランプを消す

メールソフトを起動してメールの内容を確認した場合、新着メールをすべて既読にしてもメール着信ランプは消えません。この場合、次の方法でメール着信ランプを消してください。

1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [メールランプを消す] をクリックする

メール着信ランプが消えます。

3 新着メールチェックを停止する

新着メールチェック機能を一時停止する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの停止] をクリックする
アイコンが () に変わり、新着メールチェック機能を一時的に停止します。

新着メールチェック機能を再開する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [新着メールチェックの開始] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンが () に変わり、設定したスケジュールに従って新着メールチェックを再開します。

新着メールチェック機能を終了する

- 1 タスクバーの [メール] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [終了] をクリックする
- 2 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする
アイコンの表示が消えます。
この操作を行なったあと、再び新着メールチェック機能を使用したいときは、「本節 1 - [メール] アイコンをタスクバーに表示する (新着メールチェック機能を開始する)」をご覧ください。

7章

本体の機能を知ろう

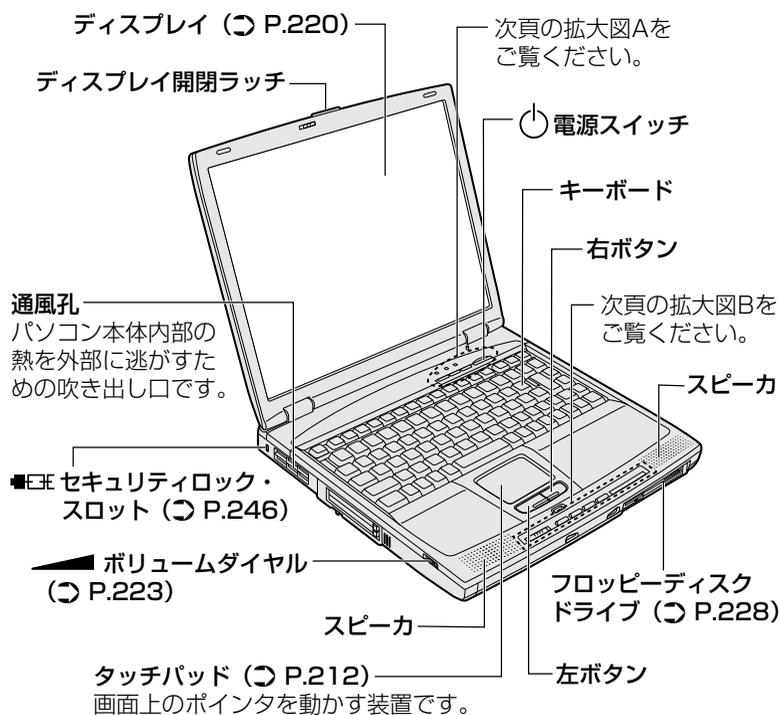
1	各部の名前	206
2	システムインジケータ	211
3	タッチパッド	212
4	ディスプレイ	220
5	ハードディスクドライブ	221
6	サウンド機能	223
7	フロッピーディスク	228
8	CD / DVD	234
9	ワンタッチボタン	241
10	セキュリティロック	246

1

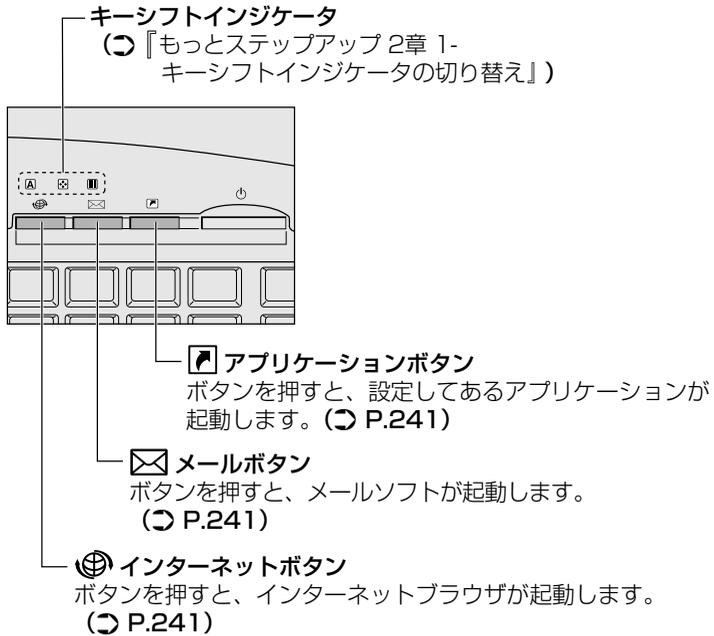
各部の名前

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明については、各参照ページをご覧ください。

前面図

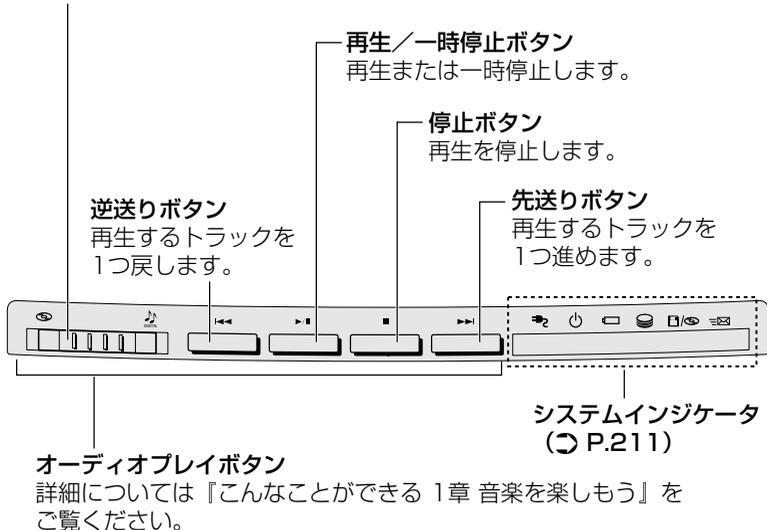


【拡大図 A】

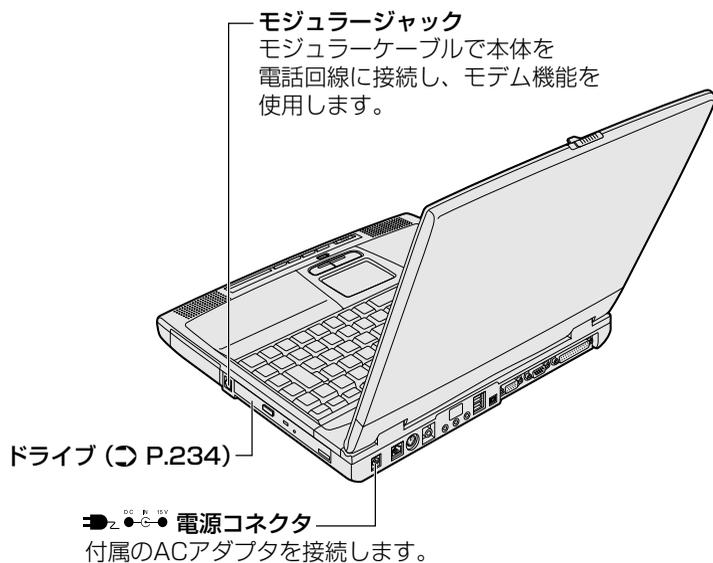


【拡大図 B】

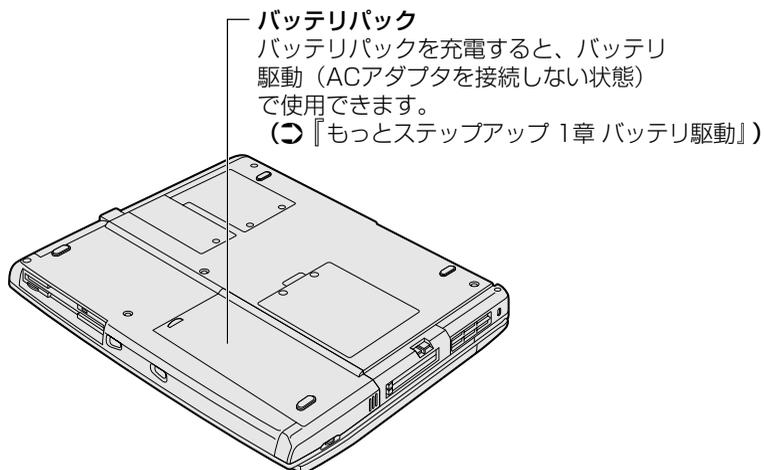
音楽CDおよびDVDを再生するか、Windows上で
 音楽ファイルを再生するかを切り替えます。
 左 (🎵) ヘスライドすると音楽CD、右 (💻) ヘ
 スライドすると音楽ファイルが再生されます。



背面図



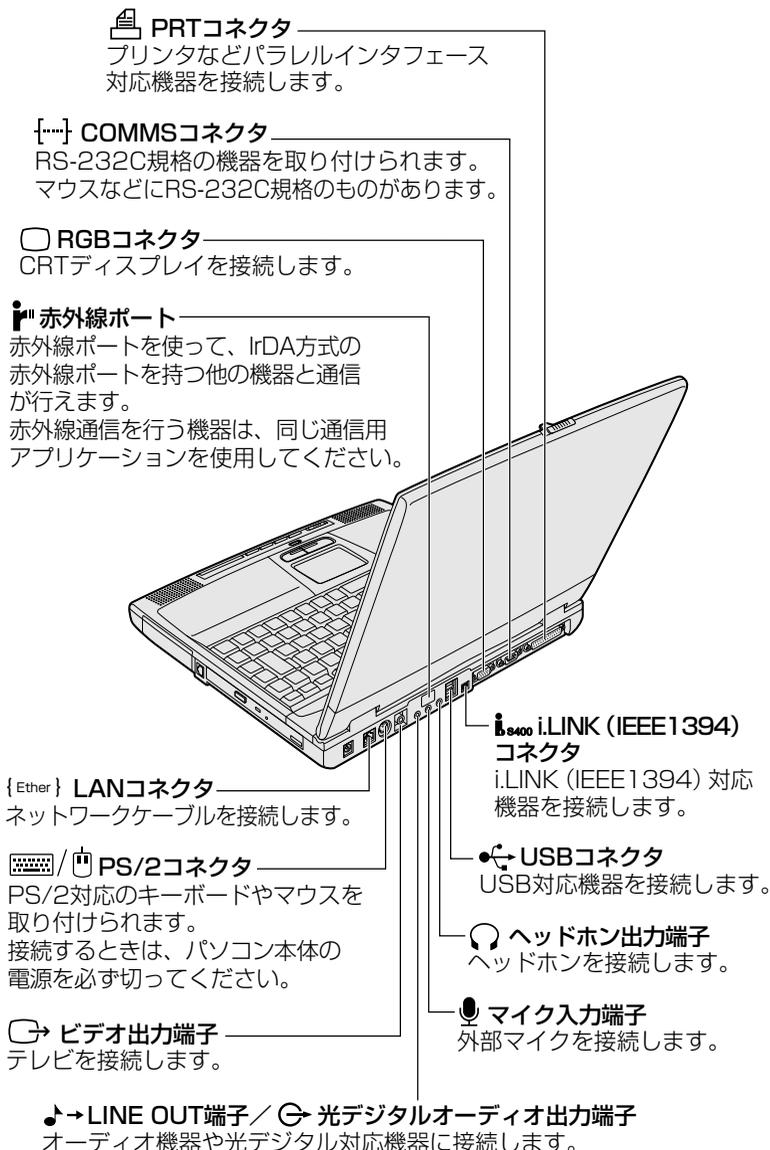
裏面図



周辺機器の接続場所

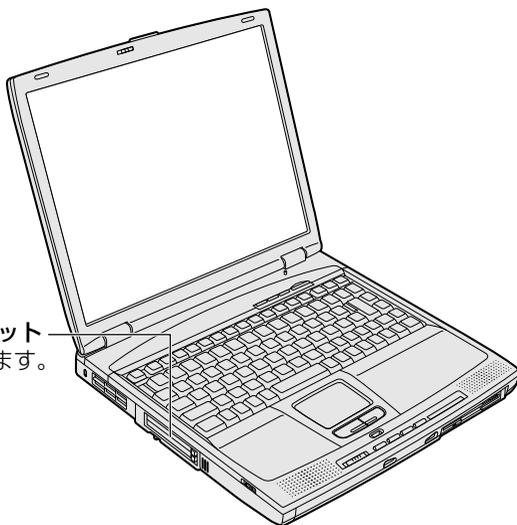
次の場所には、周辺機器が接続できます。詳しい説明は、『もっとステップアップ 3章 周辺機器の接続』をご覧ください。

【背面図】



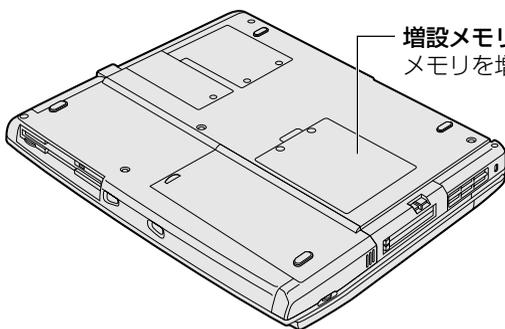
【前面図】

 PCカードスロット
PCカードを接続します。



【裏面図】

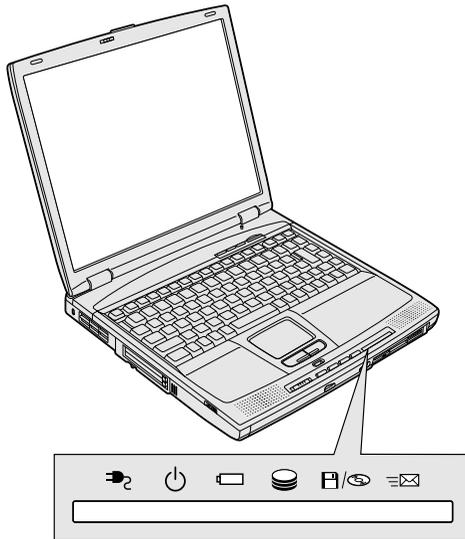
増設メモリスロット
メモリを増設します。



2

システムインジケータ

システムインジケータは、パソコン本体の動作状態を示します。インジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



	DC IN LED	電源コードの接続 ☞ 「2章 1-1 電源を入れる（2回目以降）」
	Power LED	電源の状態 ☞ 「2章 1-1 電源を入れる（2回目以降）」
	Battery LED	バッテリーの状態 ☞ 『もっとステップアップ 1章 バッテリー駆動』
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている ☞ 「本章 5 ハードディスクドライブ」
	FDD/CD-ROM LED	フロッピーディスクドライブ、マルチドライブ またはCD-R/RWドライブにアクセスしている ☞ 「本章 7 フロッピーディスク」 ☞ 「本章 8 CD/DVD」 マルチドライブまたはCD-R/RWドライブの電源が入っている
	メール着信ランプ	新着メールがある場合に点灯する ☞ 「6章 5 新着メールをランプで確認する」

3

タッチパッド

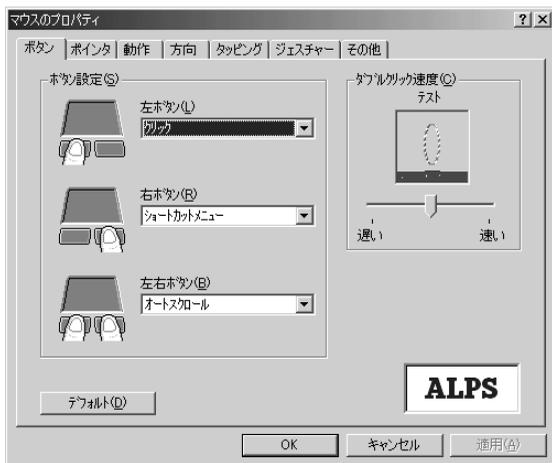
タッチパッドや右ボタン／左ボタンはお好みに応じて、使いやすく設定できます。本節では、お使いになると便利な機能を紹介します。

■【マウスのプロパティ】の設定方法

設定は【マウスのプロパティ】で行います。

1 タスクバーの【タッチパッド】() アイコンをダブルクリックする

画面が表示されます。



- #### 2 各タブで機能を設定し、[OK] ボタンをクリックする
- 各機能の設定については、本節の以降の説明をご覧ください。
[キャンセル] ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

-  ●【マウスのプロパティ】は、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックし、[マウス] アイコンをダブルクリックしても表示できます。

■ ヘルプの起動方法

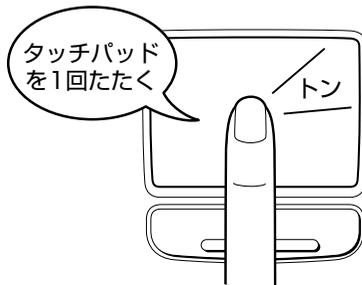
- 1 [マウスのプロパティ] 画面を表示し、画面右上の **?** をクリックする
マウスポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする
説明文がポップアップで表示されます。

タッピング機能

[タッピング] タブで設定します。
タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

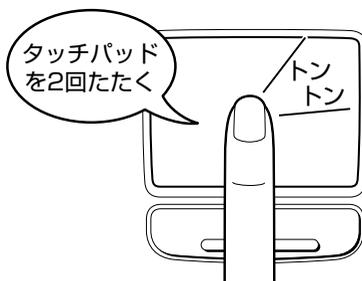
■ クリックする

タッチパッドを1回軽くたたきます。



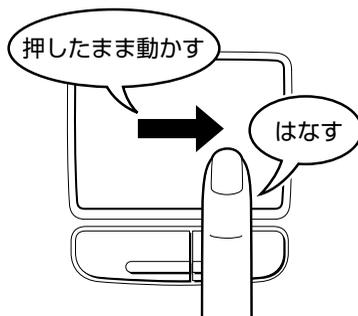
■ ダブルクリックする

タッチパッドを2回軽くたたきます。



■ ドラッグアンドドロップする

タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。



タッピング機能の各項目について説明します。



【タッピング】

チェックする（）と、タッピング機能が使用できます。

ご購入時はチェックされています。

続けてタッピングするときの速度は、スライダーバーを動かして調節します。

【ドラッグロックの設定】

タッピングでドラッグした場合、指を離してもドラッグ状態を保ちたい場合は、[ドラッグロック] をチェックします。

ドラッグ状態を解除する方法を次の中から選択します。

[自動解除] : ある一定時間経ったらドラッグ状態を解除します。
時間はスライダーバーを動かして調節できます。

[タッピング又はクリックで解除] : タッピング（1回たたく）またはクリックの動作でドラッグ状態を解除します。

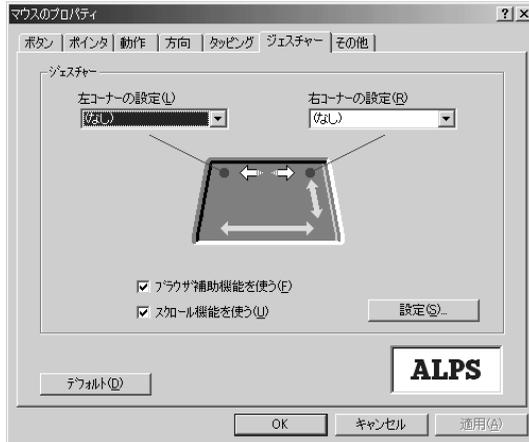
【キー入力時タップしない】

タッピング機能を設定していても、キーボードから文字を入力している間はタッピング機能が効かないようにします。この項目をチェックすると、入力中に意図しない場所をクリックしてしまうのを防ぐことができます。

タッピング機能を便利に使う

[ジェスチャー] タブで設定します。

タッチパッドの右上、左上をタッピングしたときの動作や、スクロール機能を設定しておくことができます。



【左コーナーの設定／右コーナーの設定】

タッチパッドの左上、右上をタッピングしたときの動作を設定できます。

なし	設定しません。
ショートカットメニュー	右クリックや  キーを押したときと同じ動作をします。
オートスクロール	ポインタが  アイコンになります。このアイコンを中心にしてスクロールしたい方向にポインタを移動すると  (表示例：下の場合) が表示され、自動的にその方向の端までスクロールします。
イージーランチャー	イージーランチャー画面を表示します。 ➡「本節 その他の機能を使う」
イージーキャプチャー	イージーキャプチャー画面を表示します。 ➡「本節 その他の機能を使う」

【ブラウザ補助機能を使う】

チェックする () と、タッチパッドの上端に指を合わせて左右に動かしたときに、ブラウザの「進む」「戻る」の動作を行うことができます。

【スクロール機能を使う】

チェックする () と、タッチパッドの右端、下端に指を合わせて上下または左右に動かしたときに、スクロール機能を使用できます。

その他の機能を使う

[その他] タブで設定します。



【サウンドフィードバック】

タッチパッドの操作に合わせてサウンドを鳴らす場合は、[使用する] をチェックします。

[設定] ボタンをクリックすると、[サウンドとマルチメディアのプロパティ] 画面が表示されます。

「Alps Pointing Device Driver」の各場面のサウンド設定を行なってください。



【トレイアイコン】

タスクバーに [タッチパッド] アイコン () を表示する場合は、 [タスクバーにアイコンを表示する] をチェックします。

【IMEキャプチャー】

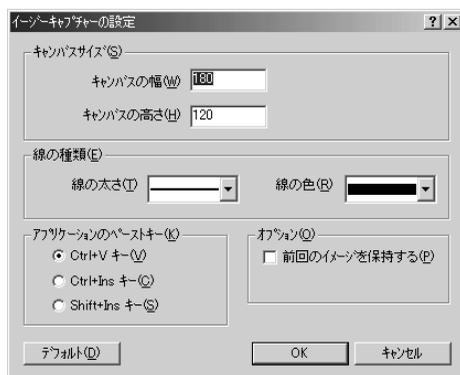
タッチパッドをIMEパッドの手書き入力エリアとして使用する場合は、 [使用する] をチェックします。

使用中は、ポインタが羽に変わります。使用中に右クリックすると入力エリアがクリアされ、左クリックすると使用が解除されます。

【イーजीキャプチャーの設定】

イーजीキャプチャー機能とは、ペイントを起動せずに簡単な絵を描いて、起動中のアプリケーションに貼り付ける機能です。

イーजीキャプチャー機能を使用する場合は、あらかじめ [ジェスチャー] タブの [左コーナーの設定] または [右コーナーの設定] で [イーजीキャプチャー] を指定しておきます。



- [キャンパスサイズ] : イージーキャプチャーで使用するキャンパスのサイズを指定します。
- [線の種類] : イージーキャプチャーで使用する線の太さと色を指定します。
- [アプリケーションのペーストキー] : イージーキャプチャーで描いた絵を貼り付ける場合のショートカットキーを指定します。
- [オプション] : 次回イージーキャプチャーを起動したときに前回のイメージを保持する場合はチェックします。

【イージーランチャーの設定】

イージーランチャー機能とは、ランチャー画面のボタンをクリックするだけで、「最小化」「閉じる」などの操作を実行したり、登録したアプリケーションやファイルを起動できる機能です。

イージーランチャー機能を使用する場合は、タスクバーの [タッチパッド] アイコン () を右クリックし、表示されるメニューから [イージーランチャー] をクリックします。または、あらかじめ [ジャスチャー] タブの [左コーナーの設定] または [右コーナーの設定] で「イージーランチャー」を指定しておきます。



[ショートカットの登録] : [追加] ボタンをクリックし、登録したいアプリケーションやファイルを指定します。

[レイアウト] : ランチャー画面の表示位置とアプリケーションアイコンの大きさを指定します。

[その他の機能] : ランチャー画面に「タイトルバー」「ツールヒント」「閉じるボタン」を表示するかを指定します。



4

ディスプレイ

本製品では表示装置として TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）が内蔵されています。ドットは点の数を表します。

表示装置には、液晶ディスプレイの他に、テレビと同じようにブラウン管を発光させて表示する CRT ディスプレイもあります。

本製品は、CRT ディスプレイを接続して使用することもできます。



CRT ディスプレイの接続

⇒ 『もっとステップアップ 3 章 8 CRT ディスプレイを接続する』

ディスプレイの表示方法や、デスクトップのデザインを変更することもできます。



詳細について ⇒ 『もっとステップアップ 2 章 2 ディスプレイの設定』

■ 表示について

- TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承ください。

5

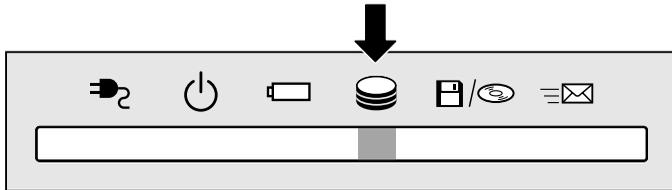
ハードディスクドライブ

本製品にはハードディスクドライブが内蔵されています。取りはずしはできません。

必要があれば、PC カードタイプ（TYPE II または TYPE III）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすこともできます。

ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LED が点灯します。



- Disk  LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。



- PC カードタイプや i.LINK (IEEE1394) 対応機器などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk  LED は点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は故障や損害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、ご了承ください。

万一故障した場合に備え、バックアップを取ることをおすすめします。



- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起ったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD-R、CD-RWなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

6

サウンド機能

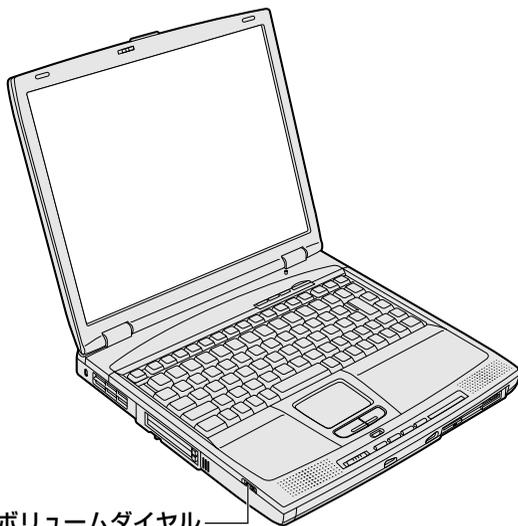
本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System に適合しています。スピーカの音量調整は、ボリュームダイヤル、または Windows の「Volume Control」を使用します。

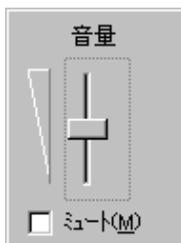
ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。



[音量] アイコンから調整する

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン (🔊) をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると、消音になります。

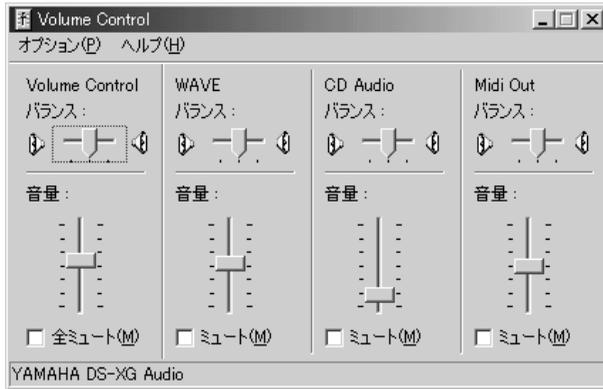
使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。

- 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているアプリケーションの設定を変える
- 外部マイクをスピーカから離す

Volume Control で調整する

再生したいファイルごとに音量を調節したい場合、次の方法で調節できます。

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする、または [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする



- 2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするるとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。

■ 音楽／音声を再生するとき

「Volume Control」の各項目では次の音量が調整できます。

- Volume Control : 全体の音量を調整する
- WAVE : MP3 ファイル、Wave ファイル、
音楽 CD (Windows Media Player の場合)、
DVD-ROM、DVD-Video など
- CD Audio : 音楽 CD (Windows Media Player 以外の場合)
- Midi Out : MIDI ファイル

また、お使いのアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『Volume Control のヘルプ』をご覧ください。

2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

パソコン上で録音するとき

- 1 タスクバーの [音量] アイコン () をダブルクリックする、または [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] → [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] をチェックする
[Stereo Out] [Microphone] がチェックされていることを確認します。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 [Recording Control] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする
[Stereo Out] : MP3 ファイル、Wave ファイル、MIDI ファイル、音楽 CD などを録音するとき
[Microphone] : 外部マイクから録音するとき
- 7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する



- 同時に2つのデバイスを選択することはできません。
- 録音したい音楽／音声は「Volume Control」の [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音するとき

光デジタルオーディオ出力端子経由で録音する場合は、あらかじめボリュームダイヤル、または「Volume Control」の [WAVE] や [Midi Out] など、各ソース用のコントロールで再生している音量を調節しておきます。



- 音量を最小にしたり、ミュート（消音）にすると、光データは出力されません。
- ボリュームダイヤルでは、本体のスピーカからの音量のみを調節できます。



Volume Control について ⇨ 「本節 1 スピーカの音量を調整する」

3 システムスピーカについて

システムスピーカを設定すると、パソコンのハードウェアの状態を知ることができます。ご購入時は「鳴らす」に設定されています。

1 [コントロールパネル] を開く



詳細について ⇨ 「3章 7- コントロールパネルの開きかた」

2 [東芝HWセットアップ] アイコン () をダブルクリックする

3 [アラーム] タブで設定する

鳴らす場合は [システムビープ音を鳴らす] をチェックします ()。

音量は [アラーム音量] のスライダーバーをドラッグして調整します。

7

フロッピーディスク

1 フロッピーディスク

使用できるフロッピーディスクの種類とその容量

フロッピーディスクに保存できる容量は、次のとおりです。

フロッピーディスクの種類	1枚に保存できる容量
2DDタイプ	720KB
2HDタイプ	1.2MB
2HDタイプ	1.44MB

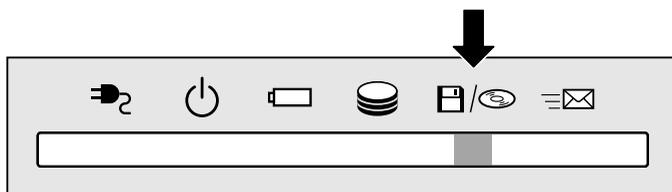
1枚あたりに保存できる容量は、フォーマットのときに指定します。

参照  フォーマットについて  「本節 3-フォーマット」

-  ● Windows 用にフォーマットされていないフロッピーディスクを使用する場合は、フォーマットが必要です。
- 1.2MBの容量にフォーマットすることはできません。1.2MBのフロッピーディスクへは、読み出しと書き込みができます。

フロッピーディスクドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、フロッピーディスクとデータをやり取りしているときは、FDD/CD-ROM  LEDが点灯します。



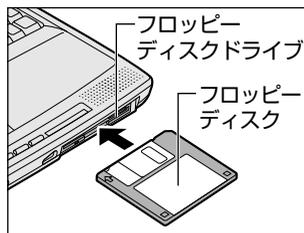
2 フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。

フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅にかかれていまする矢印の向きにあわせて挿入する

「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされるとイジェクトボタンが出てきます。

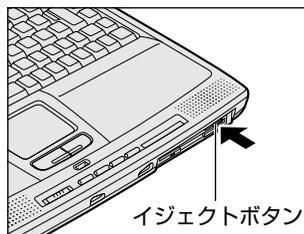


⚠ 注意

- ・パソコン本体の電源が入っている場合で、FDD/CD-ROM LEDが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンに触れたり、パソコン本体を動かしたりしないでください。フロッピーディスクのデータやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。

フロッピーディスクの取り出し

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



フロッピーディスクの内容を見る

- 1 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする

[マイ コンピュータ] 画面が開きます。

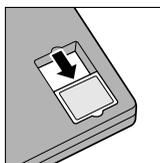
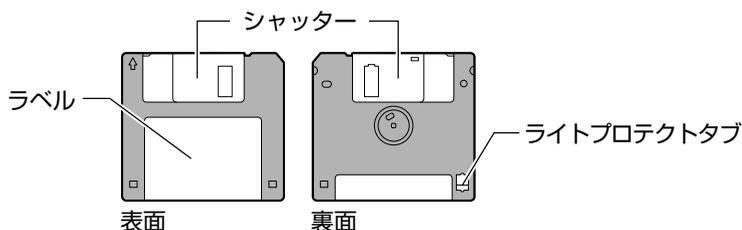
- 2 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をダブルクリックする

[3.5 インチ FD (A:)] 画面が開き、セットしたフロッピーディスクの内容が表示されます。

3 フロッピーディスクを使う前に

ライトプロテクトタブ

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。



書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

フォーマット

新品のフロッピーディスクは、使用するシステム（OS）にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクを使うときは、必ずフォーマットを行ってください。

他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。

フォーマットには、「クイックフォーマット」と「通常のフォーマット」という方法があります。

【クイックフォーマット】

以前にフォーマットしたことのあるフロッピーディスクに実行できます。クイックフォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されますが、基本情報の書き込みなどは行われません。フロッピーディスクが壊れているおそれのある場合は、クイックフォーマットは行わないでください。

【通常のフォーマット】

すべてのファイルが消去され、基本情報が書き込まれます。ディスクの損傷があるかどうかにもチェックされます。

■ フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳細については、Windows の『ヘルプとサポート』をご覧ください。



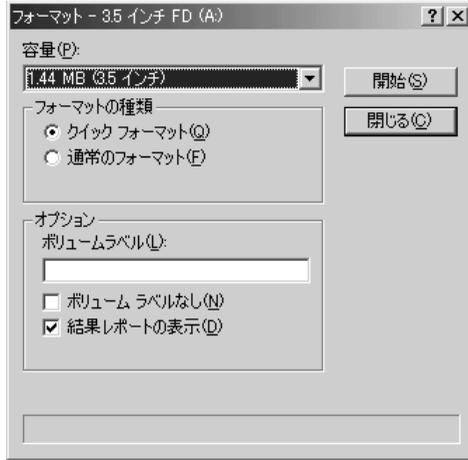
- フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。



- 他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- 2HD フロッピーディスクを 2DD タイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- フォーマット形式は、2DD の場合は 720KB、2HD の場合は 1.44MB のみになります。

- 1 フロッピーディスクドライブに、フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 3 [3.5 インチ FD (A:)] アイコン () をクリックする
[3.5 インチ FD (A:)] が選択され、アイコンの色が反転します。

- 4 [マイコンピュータ] 画面で [ファイル] をクリックし、表示されたメニューから [フォーマット] をクリックする
アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。フォーマット方法を選択する画面が表示されます。



- 5 フォーマット方法を選択し、[開始] ボタンをクリックする
フォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので確認してください。初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、多少時間がかかります。
- 6 [フォーマット結果] の内容を確認し、[閉じる] ボタンをクリックする
これで、フォーマットは完了です。
他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。
フォーマットを終了する場合は、[フォーマット] 画面で [閉じる] ボタンをクリックします。

8

CD / DVD

本製品にはマルチドライブまたは CD-R/RW ドライブが内蔵されています。

本製品のマニュアル『安心してお使いいただくために』に、CD / DVD をお使いになるときに守っていただきたいことが記述されています。

CD / DVD をお使いになる場合は、あらかじめその記述をよくお読みになり、必ず指示をお守りください。

 『安心してお使いいただくために CD / DVD の取り扱いについて』

⚠ 注意

- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- ・ FDD/CD-ROM  /  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD / DVD を取り出す操作をしないでください。CD / DVD が傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD / DVD のデータやドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ ドライブのトレイを開けたときに、CD / DVD が回転している場合には、停止するまで CD / DVD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。

 **お願い**

- ドライブに保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

 **参照**

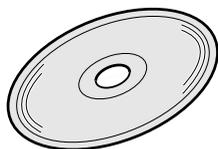
イジェクトホールについて

☞ 「本節 2- ディスクトレイが出てこない場合」

1 CD/DVD

使用できる CD

直径 8cm、12cm の円盤にデータを記憶する媒体です。



読み込みできる CD は、次の種類です。

- ① 音楽用 CD
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- ② フォト CD
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録しています。
- ③ CD-ROM
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものを使用できます。
- ④ CD エクストラ
記録領域を音楽データ用とパソコンのデータ用に分け、両方の再生装置でそれぞれ再生します。
- ⑤ CD-R
- ⑥ CD-RW

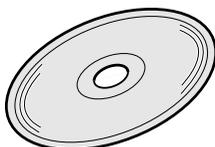
書き込みできる CD は次の種類です。

- ① CD-R
書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
CD-R メディアに書き込む際には、8 倍速対応 CD-R メディアをご使用ください。
- ② CD-RW
書き込む速度はご購入のモデルによって異なります。
マルチドライブモデルで CD-RW メディアに書き込む際には、1 / 2 / 4 倍速対応（マルチスピード）CD-RW メディアをご使用ください。
CD-R/RW ドライブモデルで CD-RW メディアに書き込む際には、1 / 2 / 4 倍速対応（マルチスピード）CD-RW メディアまたは High-Speed CD-RW（4 ~ 10 倍速）対応メディアをご使用ください。High-Speed CD-RW 対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大 8 倍速になります。

使用できる DVD

*マルチドライブモデルのみ

直径 12cm の円盤に、4.7GB（一層）または 8.5GB（二層）のデータを記憶できます。



読み込みできる DVD は、次の種類です。

① DVD-ROM

② DVD-Video

映像再生用です。

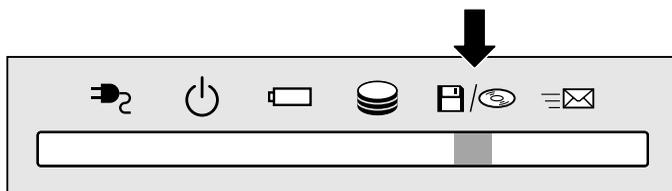


● DVD-Video 再生時は、AC アダプタを接続した状態でご使用になることをおすすめします。

また、使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちするケースがあります。

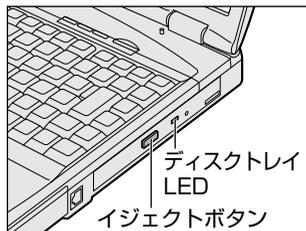
ドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っている場合、ドライブが動作しているときは、FDD/CD-ROM   LED が点灯します。



2 CD / DVDのセットと取り出し

CD / DVDは、電源が入っているときにセット / 取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- FDD/CD-ROM  LED が点灯しているとき

これらの場合には、ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。



- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブに CD / DVD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。

CD / DVD のセット

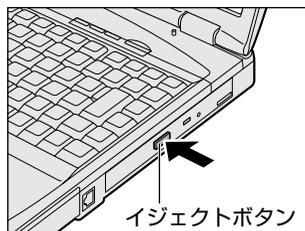
CD / DVD をセットするには、次のように行います。

1 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れずに使用する場合は、メディア切替スイッチを左側へスライドします。

2 イジェクトボタンを押す

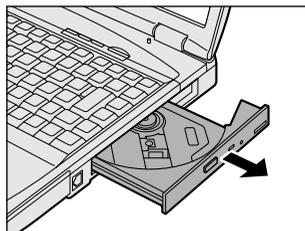
イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



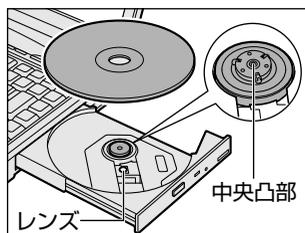
メモ ●電源が入っていないと、イジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

3 ディスクトレイを引き出す

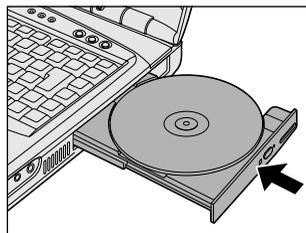
CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。



4 文字が書いてある面を上にして、CD / DVD の穴の部分ディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットするかチッと音がして、セットされていることを確認してください。



5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



- CD / DVD をディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD / DVD を正しくディスクトレイにセットしないと CD / DVD を傷つけることがあります。



- 傷ついたり汚れのひどい CD / DVD の場合は、挿入してから再生が始まるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- CD / DVD の特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

CD / DVD の取り出し

1 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れずに使用する場合、メディア切替スイッチを左側へスライドします。

2 イジェクトボタンを押す

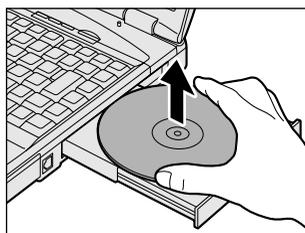
ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

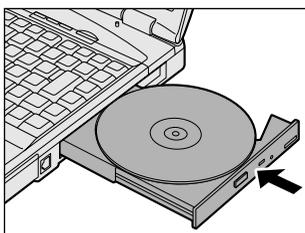
CD / DVD をのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD / DVD の両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

CD / DVD を取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。

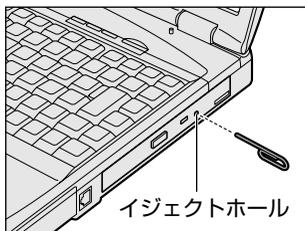


5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



【ディスクトレイが出てこない場合】

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押ししてください。ディスクトレイが出てきます。



- 電源を入れ、ドライブのディスクトレイ LED が点滅しなくなったことを確認してから、ドライブのイジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。

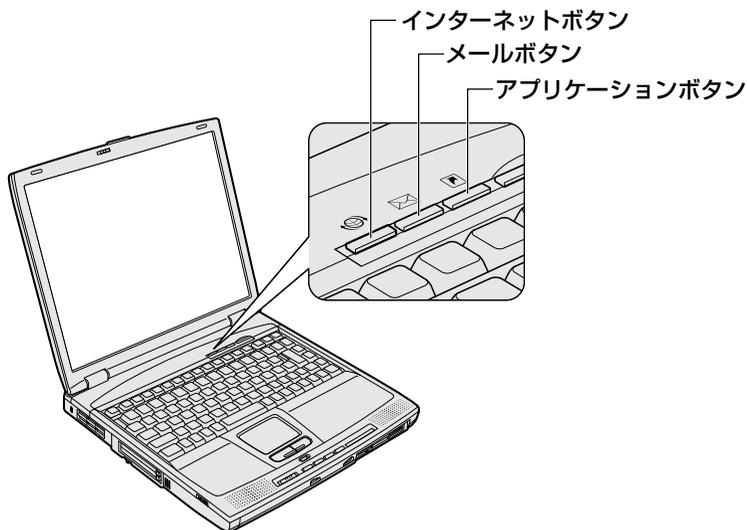
9

ワンタッチボタン

本製品には3つのワンタッチボタンがあります。

ボタンを押すだけで、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフトを起動することができます。

アプリケーションボタンには、ボタンで起動したいアプリケーションを設定できますので、よく使うアプリケーションを設定しておく便利です。



7章

本体の機能を知ろう

各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。

起動するアプリケーションは、「東芝サービス」で自由に変更できます。ご購入時に各ボタンに設定されているアプリケーションは次のとおりです。

- ・インターネットボタンInternet Explorer
- ・メールボタンOutlook
- ・アプリケーションボタンなし

【パソコン本体の電源が入っていないとき】

電源が入り、設定されているアプリケーションが起動します。

【スタンバイ状態／休止状態のとき】

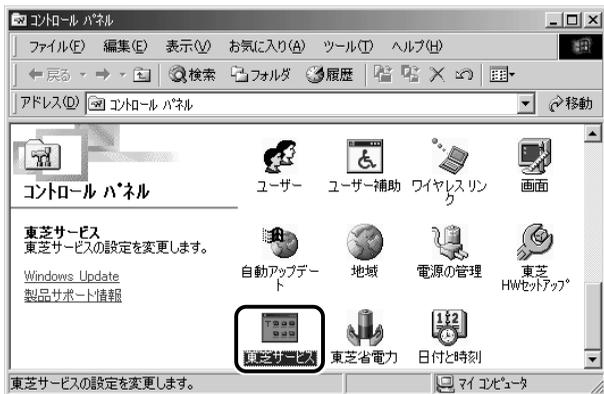
スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、設定されているアプリケーションが起動します。

アプリケーションを変更する

各ボタンを押して起動するアプリケーションを、自由に設定することができます。

ここでは、アプリケーションボタンに「ペイント」を設定する例で変更方法を説明します。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[東芝サービス] アイコン () ダブルクリックする



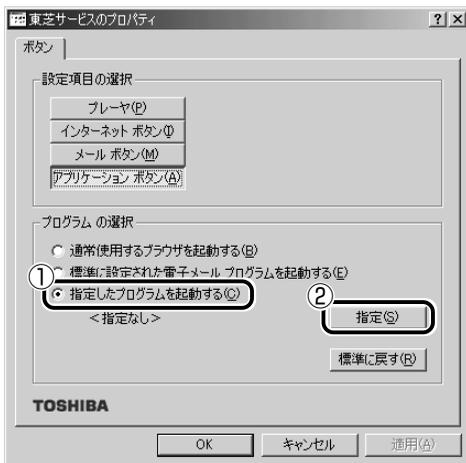
[東芝サービスのプロパティ] 画面が表示されます。

- 2 [設定項目の選択] の [アプリケーションボタン] をクリックする



画面の下部部分が [プログラムの選択] に切り替わります。

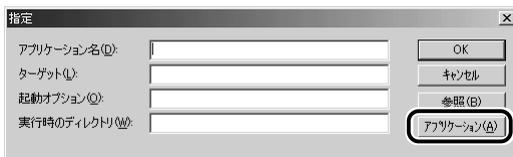
- 3 [プログラムの選択] で [指定したプログラムを起動する] が選択されていることを確認し①、[指定] ボタンをクリックする②



- ご購入時の状態では、次のように設定されています。
[通常使用するブラウザを起動する]：Internet Explorerの起動。
[標準に設定された電子メールプログラムを起動する]
：Outlookの起動。
再セットアップ後は、
Outlook Expressが起動します。

[指定] 画面が表示されます。

- 4 [アプリケーション] ボタンをクリックする



[アプリケーションエクスプローラ] 画面が表示されます。

5 [フォルダ] の [プログラム] → [アクセサリ] をダブルクリックする



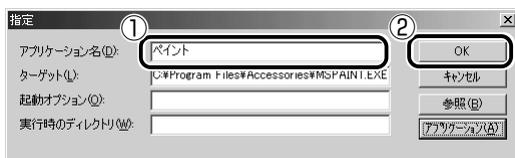
[アプリケーション] に表示されているアイコンが切り替わります。

6 [アプリケーション] の [ペイント] アイコン () をクリックし、[OK] ボタンをクリックする



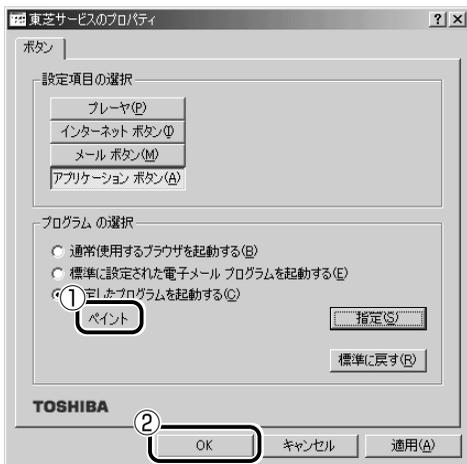
[指定] 画面に戻ります。

7 [アプリケーション名] にペイントが設定されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



[東芝サービスのプロパティ] 画面に戻ります

- 8 [指定したプログラムを起動する] の下に「ペイント」と表示されていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



アプリケーションボタンにペイントが設定されます。

- メモ** ● ご購入時の設定に戻す場合は、[東芝サービスのプロパティ] 画面で [標準に戻す] ボタンをクリックしてください。

10

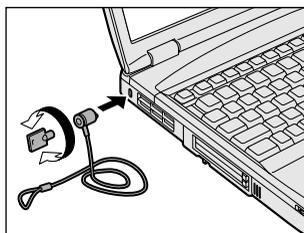
セキュリティロック

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。



- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを販売店にご確認ください。

1 セキュリティロック・スロットにセキュリティロック用の機器（別売り）を接続する



- PCカードロックを有効にした後セキュリティロックをすると、PCカードの取り付け／取りはずしはできなくなります。PCカードの取り付け／取りはずしを行う場合は、セキュリティロック→PCカードロックの順に解除してください。

8章 パソコンの取り扱い

- 1 日常の取り扱いとお手入れ 248
- 2 アフターケアについて 254
- 3 廃棄について 255

1

日常の取り扱いとお手入れ

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を強くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ~ 35℃、湿度 20 ~ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

電源コード

電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を堅くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなど飲み物をこぼしたときは、電源を切り、AC アダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちにお買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

液晶ディスプレイ

■ 画面のお手入れ

- 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

■ サイドライト用 FL 管について

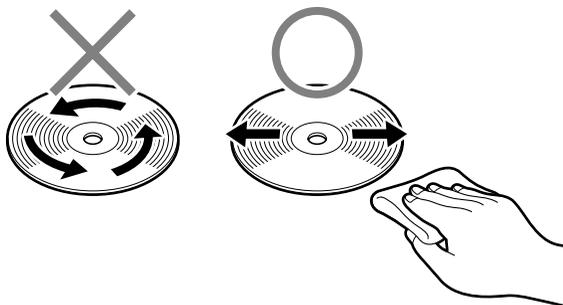
液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用 FL 管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

CD / DVD

CD / DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD / DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVD を読み込むことができなくなります。
- CD / DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD / DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニングディスクを使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面に触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

タッチパッド

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってから拭きます。

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどにコピーしておくことです。本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
電源を切った後も、Disk LEDが点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CD / DVDがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。
- 持ち運ぶときはディスプレイを閉じてください。

仕様について

本製品の仕様は国内向けです。

国外で製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

■ ACアダプタの仕様

入力	AC100V~240V、0.75~0.35A、50/60Hz
出力	15V、4A

2

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへのご相談は、『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。

保守・修理に出す前に、ご自分で作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- ・メール
- ・メールのアドレス帳
- ・インターネットの履歴
- ・インターネットのお気に入り

操作方法については、『困ったときは』をご覧ください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック PABAS011 と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品（本製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

3

廃棄について

バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。



Li-ion

■ バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人 電池工業会

TEL / 03-3434-0261

ホームページ / <http://www.baj.or.jp>

パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

■ パソコン内のデータ消去について

パソコン内のデータは、「削除」や「フォーマット」を行なっただけでは、特殊なソフトウェアなどの使用により、消したはずのデータが再生されることがあります。

パソコンの廃棄の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合には専門業者に依頼もしくは市販のソフトウェアなどをお使いになることをおすすめいたします（有償）。

本件に関するお問い合わせは、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）にご連絡ください。

東芝 PC ダイヤル

TEL / 0570-00-3100

受付時間 / 9:00 ~ 19:00（祝日、12 / 31 ~ 1 / 3を除く）

■ お客様登録の削除について

お客様登録されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

パソコンお客様ご登録係

TEL／043-278-5997

受付時間／9：00～17：00（土・日、祝日、特別休日を除く）

付録

1	ローマ字入力一覧表	258
---	-----------------	-----

1

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

ローマ字が2種類以上載っている欄は、最上段がヘボン式のとおりです。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
た	た	ち	つ	て	と
	ta	chi ti	tsu tu	te	to
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
わ	わ				を
	wa				wo
ん	ん				
	n* nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji zi	zu	ze	zo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	ji di	zu du	de	do
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po

* : nに続けて子音 (k, s, t, nなど) が入力されると「ん」になります。

あ	い	う	え	お
xa la	xi li	xu lu	xe le	xo lo
きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
sha sya	syi	shu syu	she sye	sho syo
		っ*1		
		xtu ltu		
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
cha tya cya	tyi cyi	chu tyu cyu	che tye cye	cho tyo cyo
てや	てい	てゅ	てえ	てよ
tha	thi	thu	the	tho
にや	にい	にゅ	にえ	によ
nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
hya	hyi	hyu	hye	hyo
ふぁ	ふい		ふえ	ふお
fa	fi		fe	fo
ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
mya	myi	myu	mye	myo
ゃ		ゅ		よ
xya lya		xyu lyu		xyo lyo
りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
rya	ryi	ryu	rye	ryo
	ゐ*2		ゑ*2	
	wi		we	
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
ja zya	zyi	ju zyu	je zye	jo zyo
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
va	vi	vu	ve	vo
ヴァ*3	ヴィ	ヴユ	ヴェ	ヴォ
vya	vyi	vyu	vye	vyo

* 1 : 通常は後ろの子音を2つ続けて入力します。【例】「いった」→ itta

* 2 : キーボードで入力した後、変換してください。

* 3 : 「ヴ」にひらがなはありません。

ひらがな入力モードで変換したときはカタカナに変換する必要があります。

さくいん

(A)

AC アダプタの仕様 253
Alt キー 76, 77

(B)

BackSpace キー 77
Battery LED 211
BCC 186
Break キー 77

(C)

CapsLock 英数キー 76
CC 186
CD 15, 235
CD-R 15
CD-R/RW ドライブ 234
CD-ROM 15
CD-RW 15
CD エクストラ 15
CD のセット 238
CD の取り扱い 250
CD の取り出し 239
COMMS コネクタ 209
CPU 12
CRT ディスプレイ 18
Ctrl キー 76, 77

(D)

DC IN LED 24, 211
Del キー 77
Disk LED 211, 221
DVD 16, 236
DVD-ROM 16

DVD-Video 16
DVD のセット 238
DVD の取り扱い 250
DVD の取り出し 239

(E)

End キー 77
Enter キー 77
Esc キー 76
E メール 136

(F)

FDD/CD-ROM LED
..... 211, 228, 236
Fn キー 76

(H)

Home キー 77
HTML 形式 142

(I)

i.LINK コネクタ 209
IEEE 1394 コネクタ 209
IME ツールバー 41
IME パッド 96
Ins キー 77
Internet Explorer 106
Internet Explorer 画面 108

(L)

LAN コネクタ 209
LED 24
LINE OUT 端子 209

(M)

MS-IME のオンラインヘルプの起動
..... 100

(O)

OS 20
Outlook Express 138
Outlook Express 画面 144
Outlook Express を起動する
..... 138
Outlook Express を終了する
..... 180

(P)

Pause キー 77
PC カードスロット 210
PgDn キー 77
PgUp キー 77
PostPet 181
PostPet のヘルプの起動方法
..... 183
Power LED 24, 211
PrtSc キー 77
PRT コネクタ 209
PS/2 コネクタ 209

(R)

RGB コネクタ 209

(S)

SD メモリカード 16
Shift キー 76, 77
Space キー 76

SysRq キー 77

(T)

Tab キー 76
TFT 方式カラー液晶ディスプレイ
..... 220
To 186

(U)

USB コネクタ 209

(V)

Volume Control 225

(W)

Win キー 76

(ア)

アイコン 40
アドレス 109
アドレス帳 163
アドレス帳を修正する 166
アドレス帳を使って宛先を入力する
..... 168
アドレスバー 42, 109
アドレスを登録する 163, 164
アプリケーション 21
アプリケーションキー 77
アプリケーションボタン
..... 207, 241
アプリケーションを起動する 73
アプリケーションを終了する 74
アプリケーションを変更する 242

(イ)

- イジェクトホール 240
- 以前に表示したホームページを
表示する 129
- インターネットボタン
..... 106, 207, 241
- インターネットメール 136

(ウ)

- ウィンドウ 42
- ウィンドウの大きさを変える 44
- ウィンドウの説明 42
- ウィンドウを移動する 46
- ウィンドウを最小化する 51
- ウィンドウを最大化する 49
- ウィンドウを閉じる 53
- ウィンドウを開く 42

(エ)

- 英数字を入力する 91
- 液晶ディスプレイ 18
- 液晶ディスプレイの取り扱い 249

(オ)

- オーディオプレイボタン 207
- オーバレイキー 77
- お気に入り 112
- [お気に入り] からホームページを
表示する 115
- [お気に入り] に登録する 112
- [お気に入り] を整理する 116
- オペレーティングシステム 20
- 音楽CD 15

- 音楽の録音レベルを調整する 226
- 音声の録音レベルを調整する 226
- [音量] アイコンから調整する ... 224
- 音量を調整する 223

(カ)

- 顔文字 186
- 確定 86
- カタカナ／ひらがなキー 77
- カタカナを入力する 88
- かな入力 82
- かな入力に設定を変更する場合 ... 82
- 画面のお手入れ 249
- 漢字キー 76
- 漢字を入力する 87

(キ)

- キーシフトインジケータ 207
- キーボード 17, 76, 206
- キーボードの取り扱い 249
- 記号を入力する 89
- 起動したときに表示する
ホームページを変更する ... 118

(ク)

- クイック起動ボタン 40
- クリックする (タッチパッド) ... 213
- クリックする (左ボタン) 30
- クリックする (マウス) 35
- クロック周波数 12

(コ)

- ごみ箱 40, 64

ごみ箱に入れたファイルを元に戻す	67
コントロールパネル	69
[コントロールパネル] 画面	71
コントロールパネルの閉じかた ...	72
コントロールパネルの開きかた ...	69
コンパクトフラッシュ	16

(サ)

再起動	28
最小化	51
[最小化] ボタン	43
最大化	49
[最大化] ボタン	43
サイドライト用FL 管	249

(シ)

システムインジケータ	24, 207, 211
システムスピーカ	227
受信メールを見る	152
消耗品	254
署名を入れる	177
新着メールチェック機能を 開始する	188
新着メールチェック機能を 使用できる状態	188
新着メールチェックの スケジュールを設定する ...	189
新着メールチェックの 設定をする	188
新着メールチェックの 接続環境を設定する	191

新着メールチェックを停止する	203
新着メールを確認する	199

(ス)

スクロール	47
スクロールする	47
スクロールする (マウス)	37
スクロールバー	43
スタートページ	118
スタートページに戻る	119
[スタート] ボタン	40
ステータスバー	42
スピーカ	206
スマートメディア	16

(セ)

赤外線ポート	209
セキュリティロック	246
セキュリティロック・スロット	206, 246
全角	81

(ソ)

増設メモリスロット	210
ソフトウェア	10, 19

(タ)

タイトルバー	42
ダウンロードする	132
タスクバー	41
タッチパッド	17, 29, 206, 212

タッチパッドの取り扱い.....	252
タッピング機能	213
タブ	84
ダブルクリックする (タッチパッド)	213
ダブルクリックする (左ボタン)	31
ダブルクリックする (マウス)	35

(チ)

直接入力	89
------------	----

(ツ)

ツールバー	42
通風孔	206

(テ)

ディスクトレイ LED	237
ディスプレイ	206
ディスプレイ開閉ラッチ	206
データのバックアップ	252
テキスト形式	142
テキスト文書	58
デスクトップ	40
電源コードの取り扱い	249
電源コネクタ	208
電源スイッチ	25, 206
電源に関する表示	24
電源を入れる (2回目以降)	24
電源を切る	27
電子メール	136
添付されたファイルを開く	174

(ト)

東芝ネットメニュー	131
[閉じる] ボタン	43
ドライブ	208
ドライブに関する表示	236
ドラッグアンドドロップする (タッチパッド)	32, 214
ドラッグアンドドロップする (マウス)	36

(ニ)

日本語入力システム MS-IME	81
入力に関する制御キー	92

(ハ)

ハードウェア	10, 11
ハードディスク	14
ハードディスクドライブ	221
ハードディスクドライブに 関する表示	221
廃棄	255
パソコン本体の取り扱い	248
パソコンを起動せずに新着メール チェックをする	198
バッテリーパック	208
半/全キー	76
半角	81
半角英数	89

(ヒ)

光デジタルオーディオ出力端子	209
左ボタン	29, 206, 212

ビデオ出力端子	209
表示する言語を切り替える	179
ひらがなを入力する	86

(フ)

ファイル	54
ファイルの名前を変更する	60
ファイルをコピーする	61
ファイルを削除する	63
ファイルを作る	57
ファンクションキー	76
フォーマット	231
フォトCD	15
フォルダ	54
フォルダの名前を変更する	60
フォルダをコピーする	61
フォルダを削除する	63
フォルダを作る	55
フラッシュメモリカード	16
フロッピーディスク	15, 228
フロッピーディスクドライブ ...	206
フロッピーディスクドライブに 関する表示	228
フロッピーディスクドライブの 取り扱い	250
フロッピーディスクのセット ...	229
フロッピーディスクの取り扱い	251
フロッピーディスクの取り出し	229
フロッピーディスクの内容を見る	230
文書を保存する	101

(へ)

ヘッドホン出力端子	209
変換キー	77
変換の区切りを変える	94

(ホ)

ホームページの画像を壁紙に 設定する	125
ホームページの画像を保存する	123
ホームページを検索する	110
ホームページを保存する	120
ポインタ	29
ポインタを動かす (タッチパッド)	30
ポインタを動かす (マウス)	34
補修用性能部品	254
保守サービス	254
ボリュームダイヤル	206, 223

(マ)

マイク入力端子	209
マイ コンピュータ	40
マイ ドキュメント	40
マウス	17, 33
マウスのプロパティ	212
マウスの持ちかた	34
マルチドライブ	234

(ミ)

右クリックする (マウス)	36
右クリックする (右ボタン)	31
右ボタン	29, 206, 212

(ム)

無変換キー 76

(メ)

メール 136

メールサーバ 137

メール着信ランプ 199, 211

メール着信ランプを消す 202

メールにファイルを添付する ... 172

メールボタン 207, 241

メールを検索する 170

メールを削除する 158

メールを作成する 146

メールを受信する 150

メールを送信する 150

メールを転送する 156

メールを分類する 160

メールを返信する 154

メニューバー 42

メモ帳を開く 79

メモリ 12

(モ)

文字キー 78

文字化け 142

モジュージャック 208

文字を削除する 93

持ち運ぶとき 253

[元のサイズに戻す] ボタン 43

(ヤ)

矢印キー 77

(ヨ)

よく見るホームページを登録する
..... 112

読みかたがわからない文字を
入力する 96

(ラ)

ライトプロテクトタブ 230

(リ)

履歴の検索 129

(ロ)

ローマ字キー 77

ローマ字入力 82

ローマ字入力一覧表 258

(ワ)

ワンタッチボタン 241